LIXIL INAX

Shower toilet

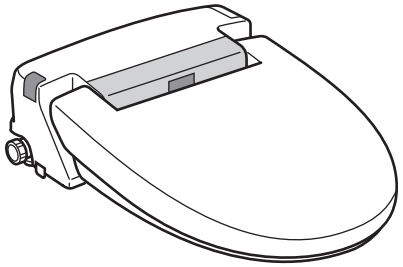
取扱説明書

保証書付（裏表紙）

定期点検情報掲載

シャワートイレ
PASSO［パッソ］

CW-E53　型・CW-E51　型・CW-E50 型
CW-E53Q 型・CW-E51Q 型



プラ
袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

もくじ

はじめに…… 1
各部のなまえ…… 2
安全上の注意…… 4
お取り扱い上の注意…… 8
お使いになる前に確認してください…… 9

ご使用方法
●リモコン本体…… 11
●ご使用前の準備（電源・温水・便座）…… 12
●基本機能の使いかた（おしり・ワイド洗浄）…… 13
（ビデ・ワイド・スーパーワイドビデ洗浄）…… 14
（マッサージ洗浄・洗浄位置）…… 15
（乾燥）…… 16
（脱臭）…… 17
●快適機能の使いかた（節電）…… 19
（フルオート便器洗浄）…… 20
（より快適な機能）…… 21
●知っておいていただきたいこと…… 23

お手入れ方法
●各部のお手入れ…… 25
●日頃のお手入れ（ノズル・ノズルシャッターのお掃除、ノズル先端の交換方法など）…… 26
●便フタの外しかた…… 30
●リモコンの電池交換…… 31
●脱臭効果が弱くなった場合…… 32
●本体を浮かせて掃除します／お掃除スライドアップ…… 33
●本体を外して掃除します／本体スライド着脱…… 35
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 37
●電源プラグの点検…… 38
●定期的な点検のお願い…… 38

長期間使用しない場合…… 39
冬期凍結の恐れがある場合…… 40

修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 42

アフターサービス…… 46
仕様…… 48
別売品のご案内…… 49
保証書…… 裏表紙

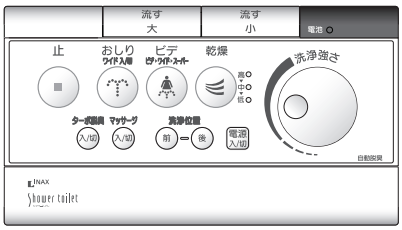
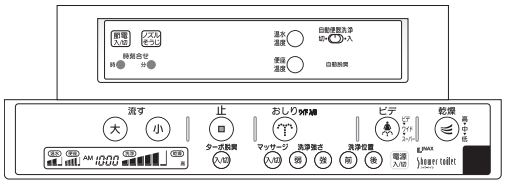
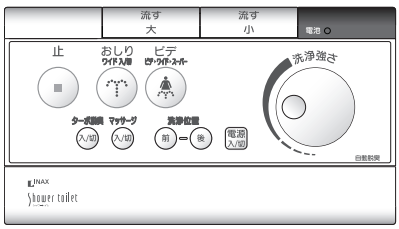
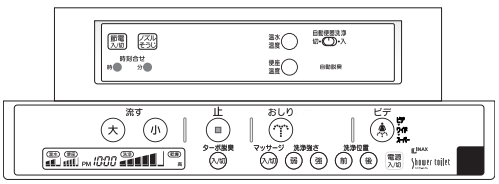
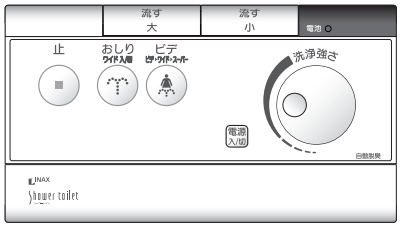
はじめに

このたびは当社商品 PASSO をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、PASSO を有意義に、そして末永くお使いいただくための説明が記載してあります。
PASSO には、全部で 5 種類の機種があります。
保有機能が異なりますので、便フタ裏の品番シールと下記にてお客さまの品番・保有機能をご確認ください。

■保有機能一覧（あり：○、なし：—）

品番	CW-E53	CW-E53Q	CW-E51	CW-E51Q	CW-E50
おしり・ビデ洗浄	○	○	○	○	○
温風乾燥	○	○	—	—	—
自動脱臭・ターボ脱臭	○	○	○	○	—
ワイド洗浄	○	○	○	○	○
スーパーワイドビデ洗浄	○	○	○	○	○
洗浄マッサージ	○	○	○	○	—
洗浄位置調節	○	○	○	○	—
フルオート便器洗浄	—	○	—	○	—

■リモコン一覧（左側 ：壁リモコン、右側：インテリアリモコン）

	壁リモコン	インテリアリモコン
CW-E53 型 CW-E53Q 型		
CW-E51 型 CW-E51Q 型		
CW-E50 型		

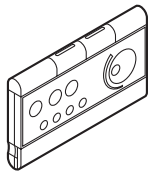
※ 機種によってスイッチの数や種類が異なります。
※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。
※ CW-E50 型はインテリアリモコンに対応しません。

各部のなまえ

■全体図

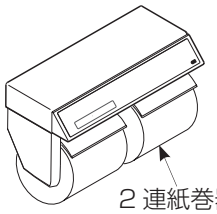
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

壁リモコン☆
（☞ 11 ページ参照）



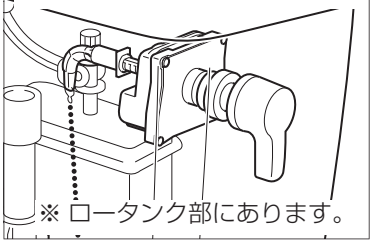
電池交換
（☞ 31 ページ参照）

インテリアリモコン☆
（☞インテリアリモコン取扱説明書）

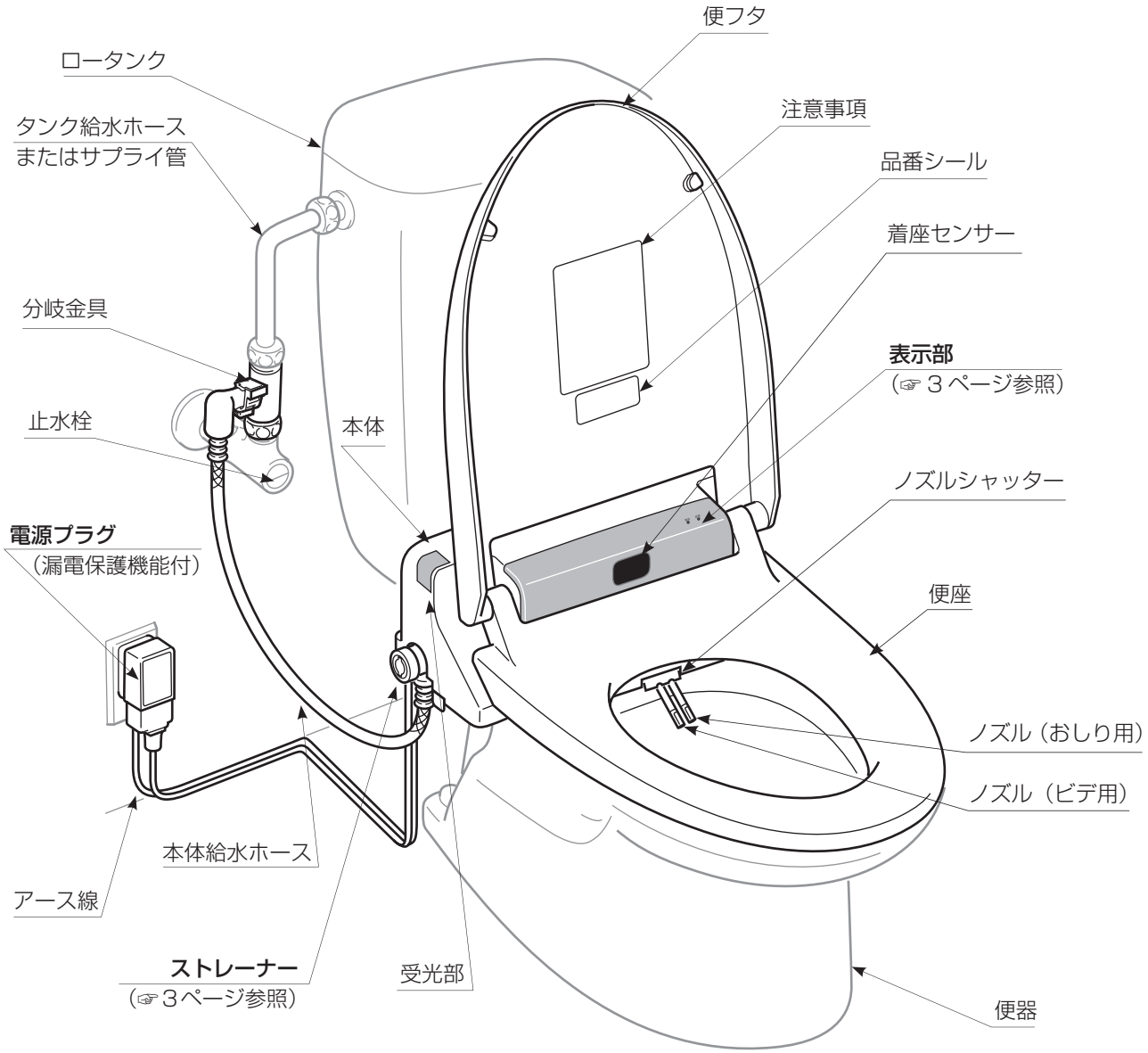


２連紙巻器

フルオート便器洗浄ユニット☆



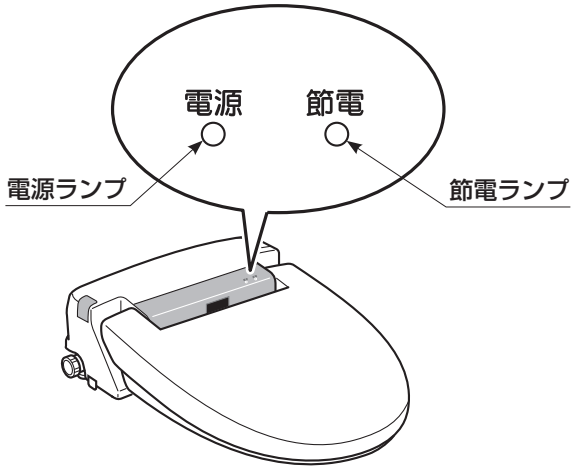
※ ロータンク部にあります。



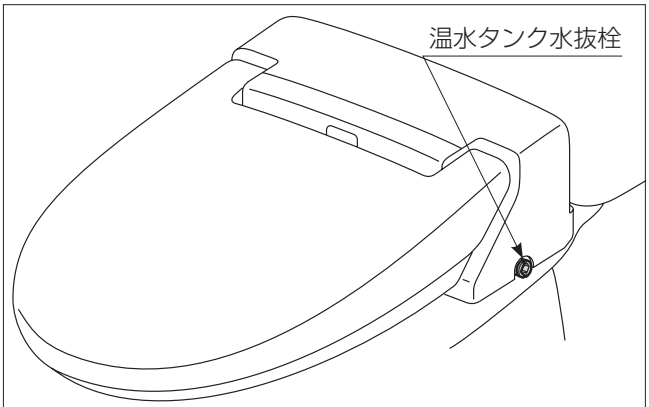
※ 操作は、リモコンのみになります。
※ インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をあわせてご覧ください。

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■表示部

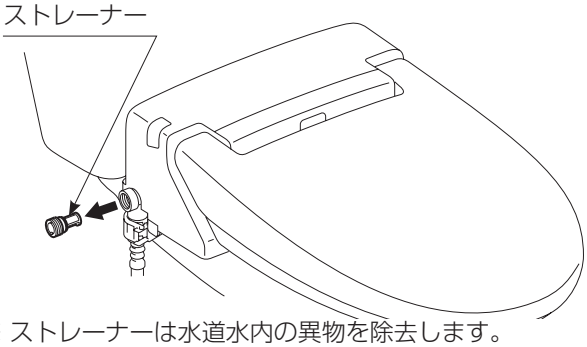


■温水タンク水抜栓



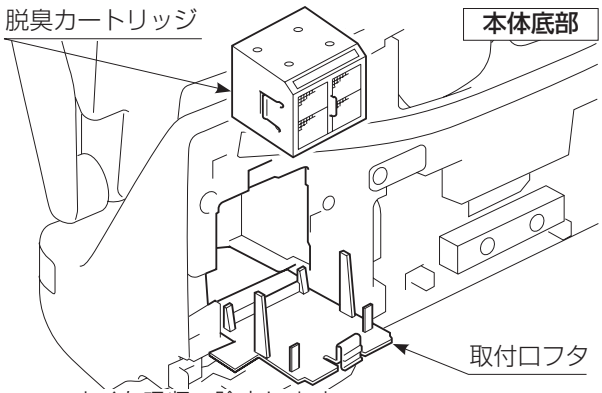
※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときにゆるめます。

■ストレーナー



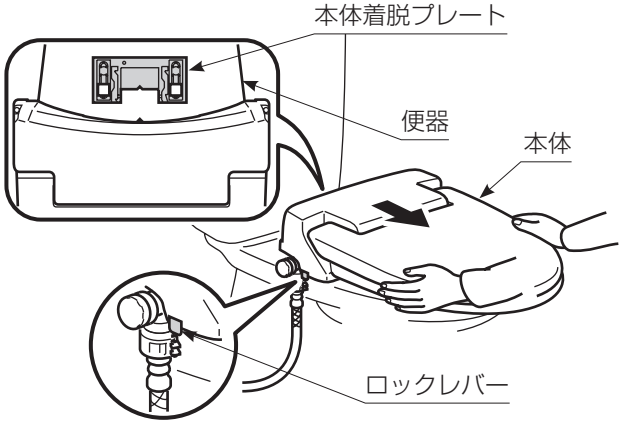
※ ストレーナーは水道水内の異物を除去します。
※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

■脱臭カートリッジ☆



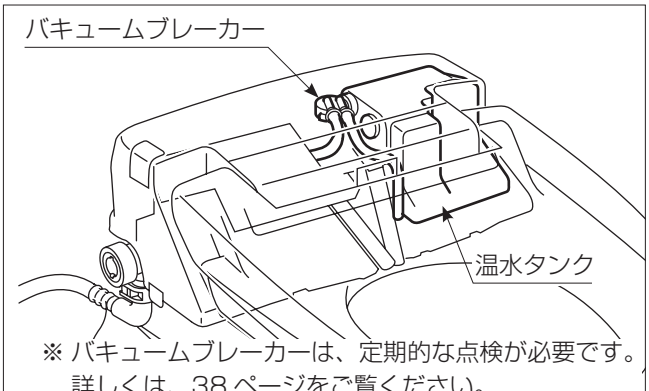
※ ニオイを吸収・除去します。
※ 脱臭付の場合、脱臭カートリッジはすでに商品に組み込まれています。

■本体着脱プレート&ロックレバー



※ お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。

■逆流防止装置（バキュームブレーカー）



※ バキュームブレーカーは、定期的な点検が必要です。
詳しくは、38 ページをご覧ください。
※本体に内蔵されています。

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
・・・・・この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行
・・・・・この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

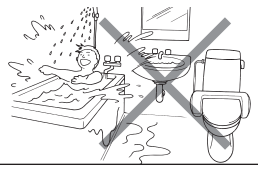
指示実行

●乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

指示実行

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※感電・火災の原因になります。

水場使用禁止



確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

アース接続

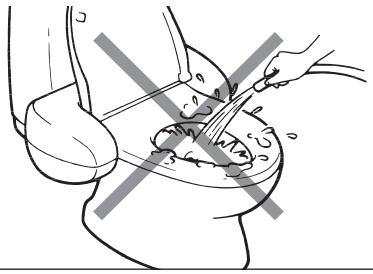
⚠警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。



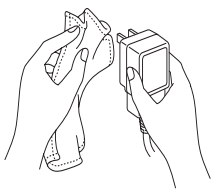
凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
(40・41 ページ参照)
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

●シャワートイレ本体･電源プラグ･コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
※ 感電・火災の原因になります。
●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

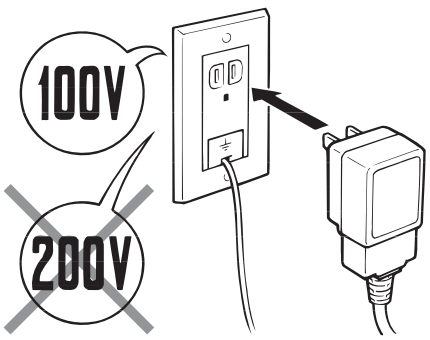
水道水以外に接続しないでください。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。
※ホコリが火災の原因になります。
電源プラグを差し直す時は、10 秒間程度時間をあけてください。



●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。



電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※感電・火災の原因になります。

⚠警告

電池は以下の事を守り、正しく使用してください。

指示実行

- ⊕⊖を正しく入れてください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
- 電池を破棄する時は、テープなどで絶縁を行ってください。
  ※電池の液もれにより火災の原因となります。
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  ※誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ってください。
  ※失明の恐れがあります。医師に相談してください。

電池を取り扱うときは、以下の事はしないでください。

禁止

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピン等）と一緒に持ち込んだり保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れたりしないでください。
  ※電池の液もれにより火災の原因となります。

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。

禁止

※プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※感電・火災の原因になります。

便フタや本体の上に乗らないでください。
※破損してケガをすることがあります。

禁止

- 温風吹出口に触れないでください。
- 温風吹出口の前に燃えやすい物をおかないでください。
  ※高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

禁止

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。

指示実行

- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

⚠注意

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※ 破損部でケガをすることがあります。
早めに交換してください。

接触禁止

【脱臭付の場合】
脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

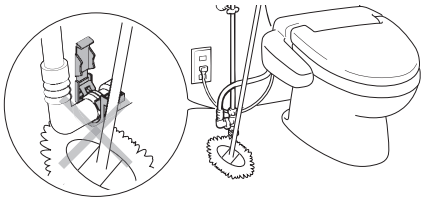
禁止

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。
※部品の劣化・摩耗などになる水漏れが発見できず、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っかけたりしないでください。
※クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。

禁止



便フタにもたれないでください。
※ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※火災の原因になります。

火気禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

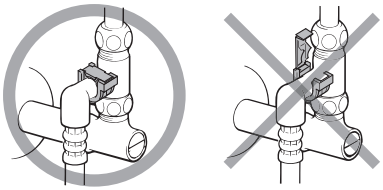
禁止

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。（45 ページ参照）
※凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※水が汚れて皮膚の炎症などを起こす原因になります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっている事を確認してください。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

指示実行



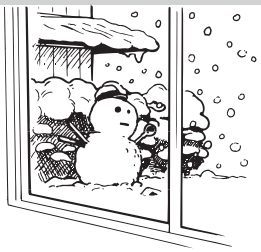
止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

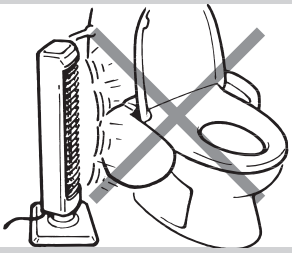
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

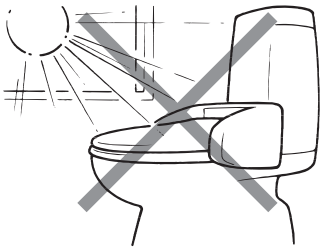
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。(☞ 40、41 ページ)



シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。

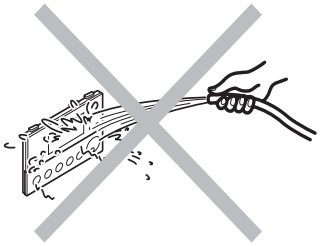


直射日光が当たらないようにしてください。
※プラスチック部が変色することがあります。
※リモコン作動不良の原因になります。

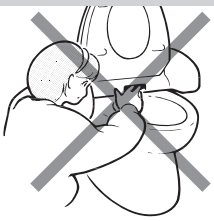


便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。

リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※**故障の原因**となることがあります。



絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。
〈乾燥付の場合〉



プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
※光沢がなくなることがあります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
※傷つきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は 25 ページをご覧ください。

＜フルオート便器洗浄付の場合＞
洗浄時に停電すると、流れっぱなしになる場合があります。
その際は、洗浄ハンドルを戻してください。
(☞ 24 ページ)

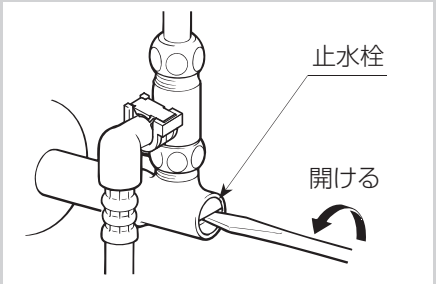
ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。



⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

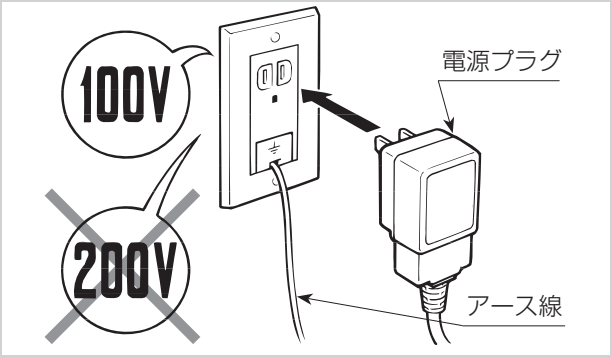
⚠ 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。
  ※ 火災の原因になります。

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ参照）

2 アース線の接続を確認し、電源プラグをコンセントに接続します。

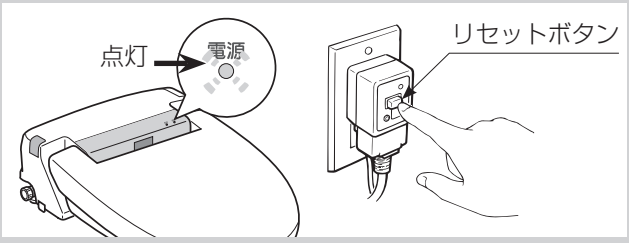
1. アース線がコンセントのアース端子に接続してあることを確認します。
2. 電源プラグを交流 (AC)100V のコンセントに差し込みます。



3. 本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

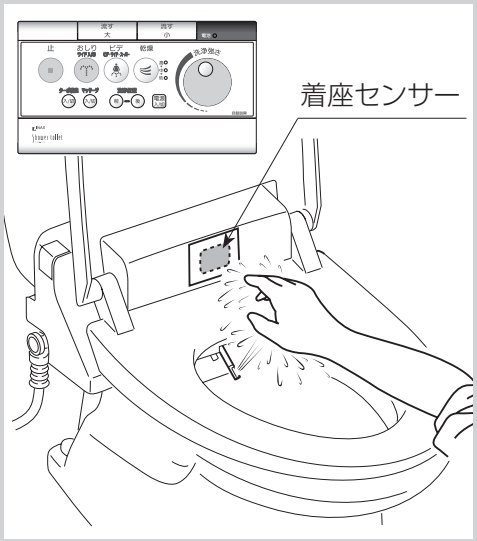
注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。



※ 電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

3 おしり洗浄を確認します。

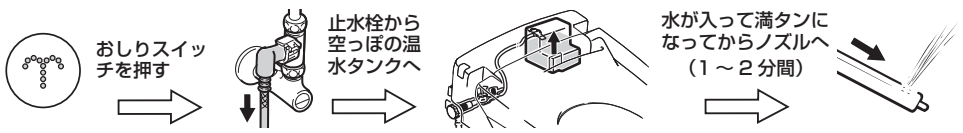
1. 着座センサーが紙で覆われていることを確認します。
   ※ 紙が張っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。（着座センサーを ON にします。）
   ※ ノズル付近から水が出ることがあります。
   最初に水が出るのは構造上、必要な動作です。
2. リモコンの洗浄ダイアルを「強」側に回し、おしりスイッチを押します。
3. ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めます。（1 ～ 2 分後）
4. シャワーを止めるときは、止スイッチを押します。
   ご使用方法 (11 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。
5. 着座センサーを覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。



※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉は、着座していないと作動しません。

シャワーが出るまで 1 ～ 2 分かかります。

温水タンクに水がたまるまで 1 ～2分かかります。水が出るまでは着座センサーを ON に保ってください。着座センサー ON のまま洗浄強さを最強にして、おしりスイッチを押してください。



ご使用方法〈壁リモコン編〉

※インテリアリモコンは、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書をご覧ください。

■リモコン本体　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

● 操作部上面

流す　★
便器洗浄をするときに使用します。（☞ 20 ページ）

電池ランプ
電池の寿命が近づくと点滅します。（☞ 31 ページ）

送信部

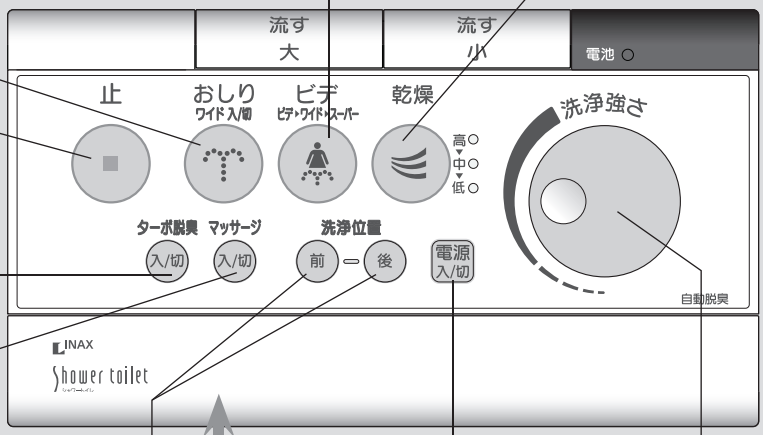
● 操作部

おしり
おしり洗浄のときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄になります。（☞ 13 ページ）

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。再度スイッチを押すとワイド洗浄となり、さらに押すとスーパーワイドビデ洗浄になります。（☞ 14 ページ）

乾燥　★
ぬれた部分を乾かすときに使用します。（☞ 16 ページ）

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄
●乾燥〈乾燥付の場合〉の動作を止めます。



ターボ脱臭　★
強力に便鉢内のニオイを除去します。（☞ 18 ページ）

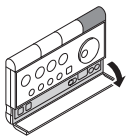
マッサージ洗浄　★
洗浄強さの強弱を繰り返します。（☞ 15 ページ）

洗浄位置　★
洗浄位置を調節します。（☞ 15 ページ）

電源
シャワートイレ本体の電源を入 / 切します。（☞ 12 ページ）

洗浄強さダイアル
おしり洗浄、ビデ洗浄の洗浄強さを調節します。（☞ 13、14 ページ）

※ 脱臭は、便座に座ると自動でファンが作動します。（☞ 17 ページ）



副操作部
（操作部下部のフタを開けます）

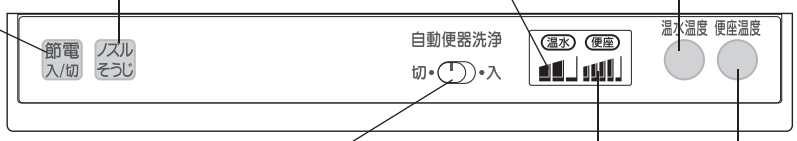
● 副操作部

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。（☞ 27 ページ）

温水温度表示
温水温度を表示します。（☞ 12 ページ）

温水温度スイッチ
温水温度を調節します。（☞ 12 ページ）

節電
便座と温水の温度を下げて節電します。（☞ 19ページ）



自動便器洗浄　★
便座から立ち上がると自動的に便器内を洗浄します。（☞ 20 ページ）

便座温度表示
便座温度を表示します。（☞ 12 ページ）

便座温度スイッチ
暖房便座の温度を調節します。（☞ 12 ページ）

《ご使用前の準備》

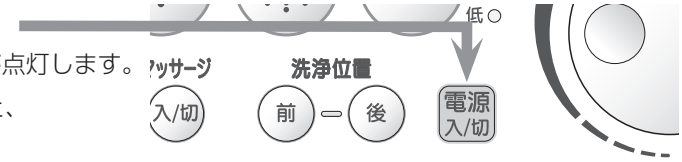
シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると本体表示部の電源ランプ（☞ 3 ページ）が点灯します。

※ 購入後、はじめて電源プラグをコンセントに差し込むと、電源は「入」の状態になります。



■温水（シャワーの温めかた）

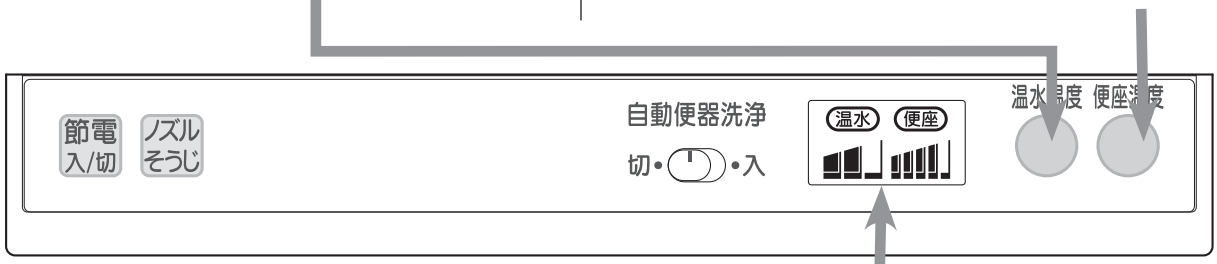
温水温度スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは 4 段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

■便座（便座の暖めかた）

便座温度スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは 6 段階（「切（室温）」、「低（約 28℃）」～「高（約 40℃）」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。



スイッチを押すたびに液晶表示が切り替わりますので、お好みの温度に設定してください。

参考

- シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。（☞ 21 ページ参照）

⚠ 警告

- ●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- ●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
  〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕
  ※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

《基本機能の使いかた》

■おしり洗浄

ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

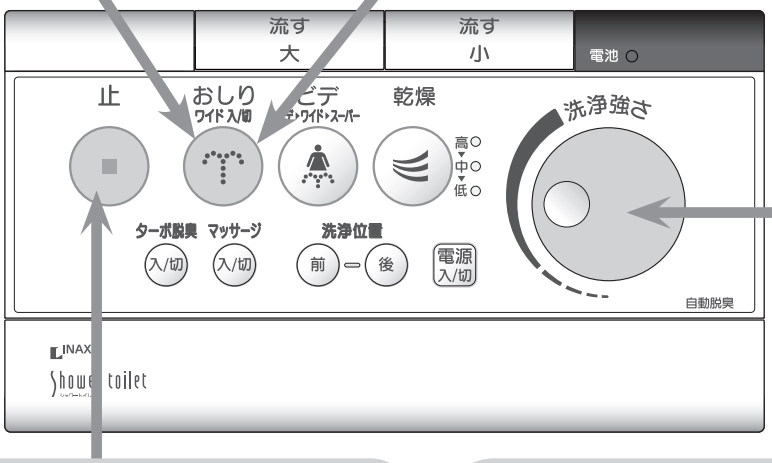
1 おしりスイッチを押します。

■ワイド洗浄

おしり洗浄中、ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

1 おしり洗浄中に、再度おしりスイッチを押します。

※ ワイド洗浄を止める時は、再びおしりスイッチを押します。

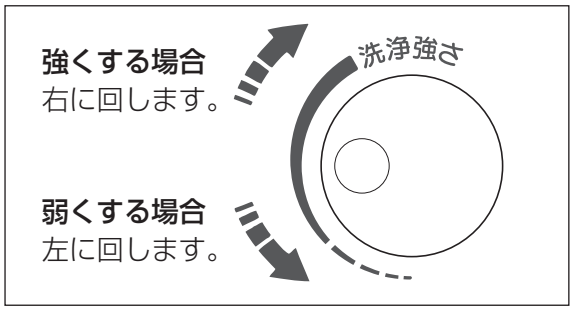


3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしり洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

※ **ノズルオートクリーニングについて**
おしり洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。



注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

■ビデ洗浄 / ワイド洗浄 / スーパーワイドビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

※ 洗浄中、ビデスイッチを押すたびにモードが切り替わります。
※ 洗浄を止め、再度ビデスイッチを押すと「ビデ洗浄」から始まります。

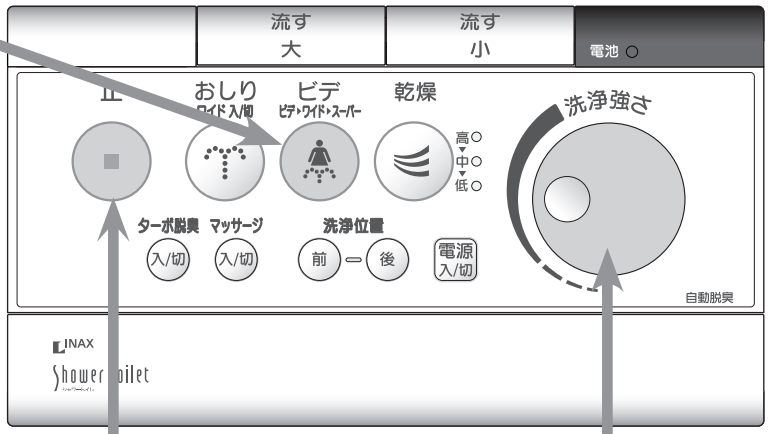
ビデ洗浄
（1 回押し）
ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。

→

ワイド洗浄
（2 回押し）
ビデ洗浄中、ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

→

スーパーワイドビデ洗浄
（3 回押し）
ビデ洗浄中にノズルが前後に動いてワイド洗浄より広い範囲を洗浄します。
※ 4 回押すとビデ洗浄に戻ります。

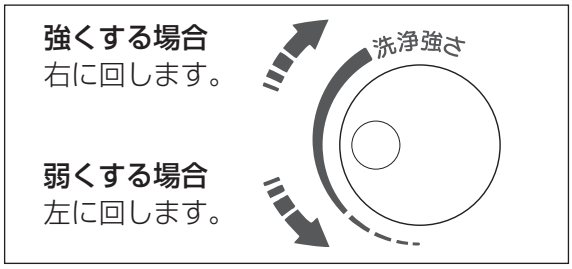


3 止めるときは止スイッチを押します。

※ ビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

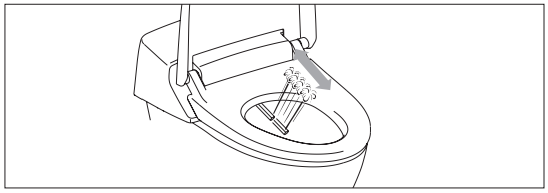
※ **ノズルオートクリーニングについて**
ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。



参考
スーパーワイドビデ洗浄とワイド洗浄（ビデ洗浄）の差異

	洗浄幅
スーパーワイドビデ洗浄	前 5 mm ×後 15mm
ワイド洗浄（ビデ洗浄）	前 5 mm ×後 5 mm



注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

■おしりマッサージ洗浄

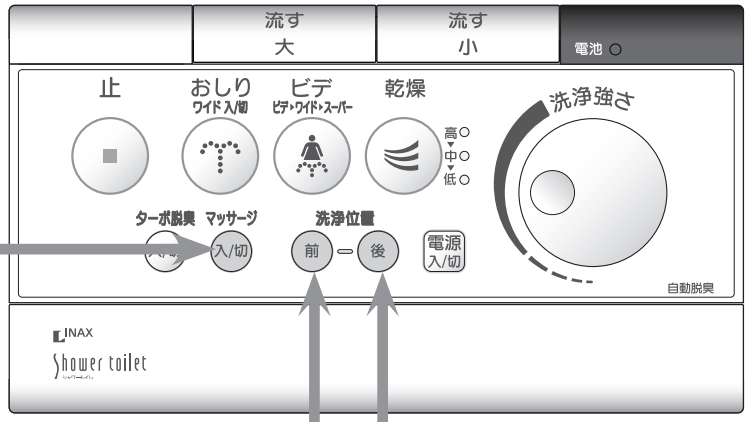
※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしり洗浄中、洗浄強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

※マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

1 おしり洗浄中に、マッサージスイッチを押します。

2 止めるときは、再びマッサージスイッチを押します。



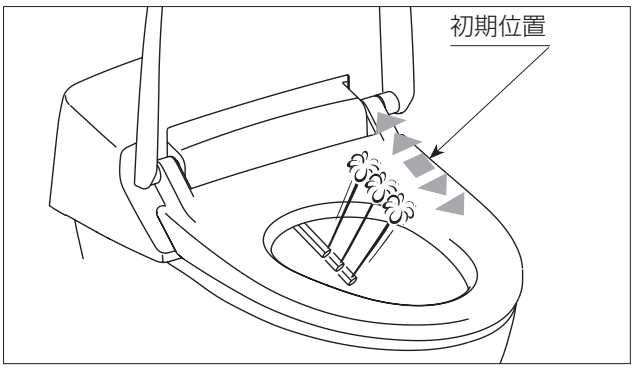
■洗浄位置の調節

※機種によっては、この機能がない場合があります。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全 5 段階に調節することができます。
（初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段）

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

※ 便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



■乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

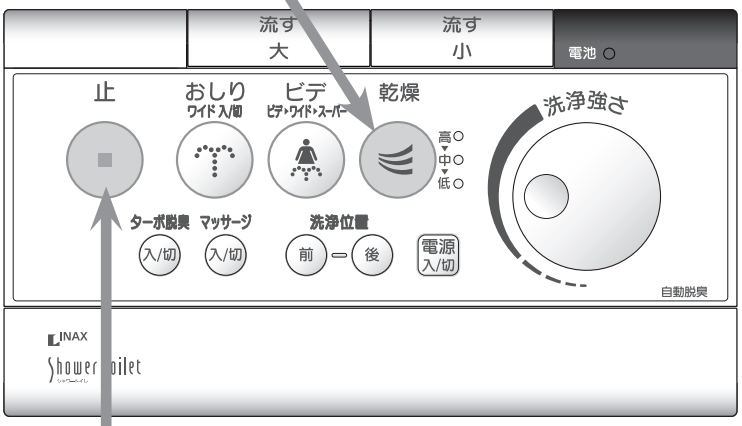
1 乾燥スイッチを押します。

※温風の温度は３段階に調節できます。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すごとに「高」から「中」→「低」→「高」と表示ランプの点灯が切り替わります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 乾燥は、４分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

※ 乾燥が動作中は一時、脱臭が停止します。

⚠ 警告

- 乾燥を長時間使用するときは、乾燥温度を「低」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が乾燥温度を「低」にしてください。
  〔お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方〕〈乾燥付の場合〉
  ※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

指示実行

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度を「中」または「低」から始まるようにする“温風始動温度切替え”機能が付いています。（☞ 21 ページ参照）

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。(☞ 3 ページ)

■脱臭

※機種によっては、この機能がない場合があります。

脱臭には**自動脱臭**と**ターボ脱臭**の 2 種類があります。

1. **自動脱臭**： 使用者の行動に合わせ自動的に「フルパワーモード」または「パワーモード」を切換え便鉢内のニオイを除去します。
2. **ターボ脱臭**：リモコンのターボ脱臭スイッチを押すと自動脱臭時より、便鉢内のニオイを強力に除去します。

1. 自動脱臭

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 便座から立ち上がります。

※ 脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

※ 立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

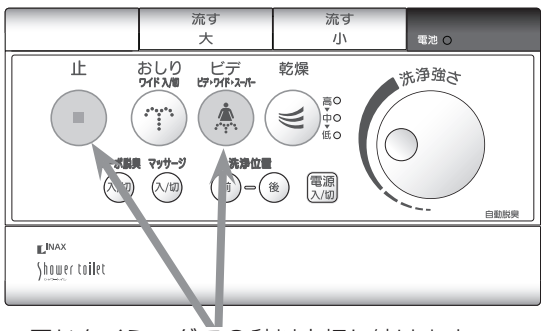
※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞ 32 ページ)

●自動脱臭を使用しない場合

止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが 2 回点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。

※ 再び、使用する場合も止スイッチとビデスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

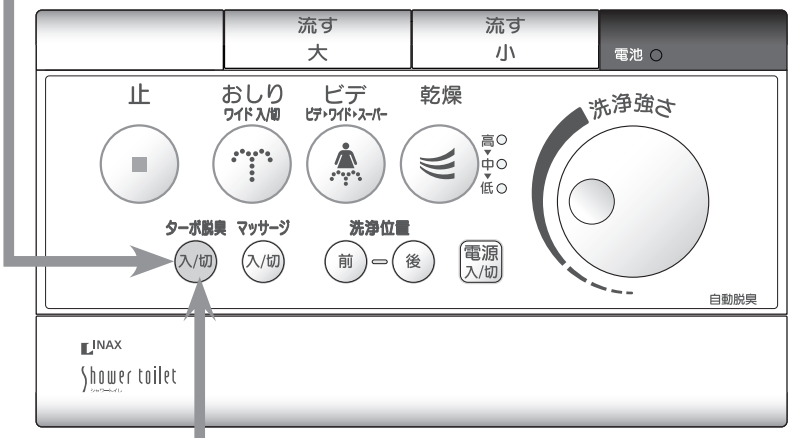


同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

2. ターボ脱臭

1 自動脱臭作動中に、ターボ脱臭スイッチを押します。

※ 脱臭ファンが「ターボモード」になり、便鉢内のニオイの除去能力が更に向上します。



2 ターボ脱臭を止めるときは再度ターボ脱臭スイッチを押します。

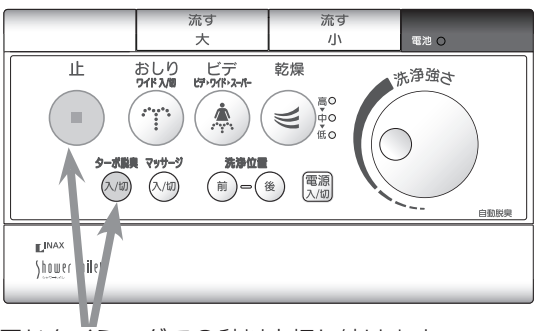
※「ターボモード」から通常の自動脱臭に戻ります。

■自動脱臭を常にターボモードとする場合

止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続けます。

※ セット完了時、表示部の電源ランプが２回点滅し、脱臭時には、脱臭ファンは「ターボモード」で、便鉢内のニオイを除去します。

※ 元に戻す場合も止スイッチとターボ脱臭スイッチを同じタイミングで２秒以上押し続けます。



同じタイミングで２秒以上押し続けます。

《快適機能の使いかた》

■節電

節電機能には**スーパー節電**と**ワンタッチ節電**の２種類があります。

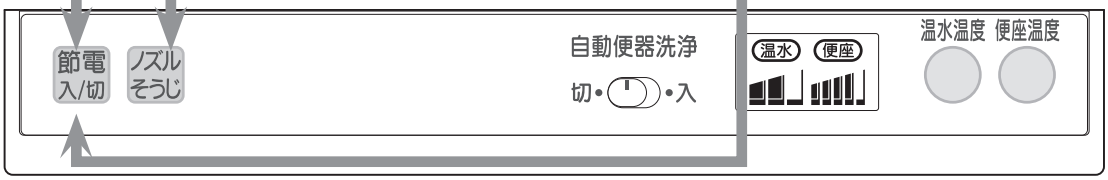
1. **スーパー節電**：　便フタを閉じている時は、温水と便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。

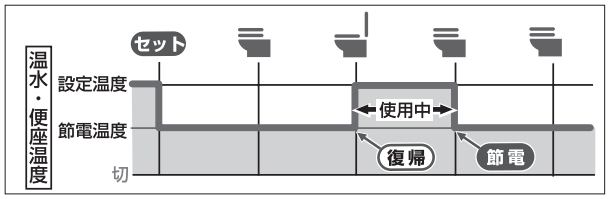
2. **ワンタッチ節電**：　長時間使用しない夜間などスイッチを押してから８時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。８時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電を併用することで、効果的な節電が行えます。

1. スーパー節電（常時）

1 **節電スイッチとノズルそうじスイッチを２秒以上押し続けます。**
（本体の節電ランプ点滅）





※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。スーパー節電が作動しているときは、本体の節電ランプが0.3秒間隔で２回ずつ点滅します。

節電

※ ワンタッチ節電と併用した場合、本体の節電ランプはワンタッチ節電と同様に点灯します。

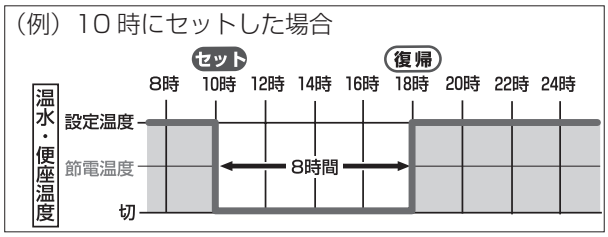
※ 便フタが開いている間、一時的に節電は解除されますが、節電ランプは点滅します。

2 **解除するときは、再び節電スイッチとノズルそうじスイッチを２秒以上押し続けます。（本体の節電ランプ消灯）**

2. ワンタッチ節電（8時間）

1 **節電スイッチを押します。**
（本体の節電ランプ点灯）

（例）10時にセットした場合



節電

※ ワンタッチ節電が作動しているときは、本体の節電ランプが点灯します。

※ ８時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、本体の節電ランプは点灯から消灯に切り替わります。

※ ワンタッチ節電は押すたびに８時間のタイマーが働きます。日中と夜間など１日に何度でも設定でき便利です。

※ ワンタッチ節電中に便座と温水の温度を変えることはできません。

2 **解除するときは、再び節電スイッチを押します。（本体の節電ランプ消灯）**

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。

※ 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

※ 電源ランプ・節電ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞３ページ）

■フルオート便器洗浄（自動便器洗浄）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

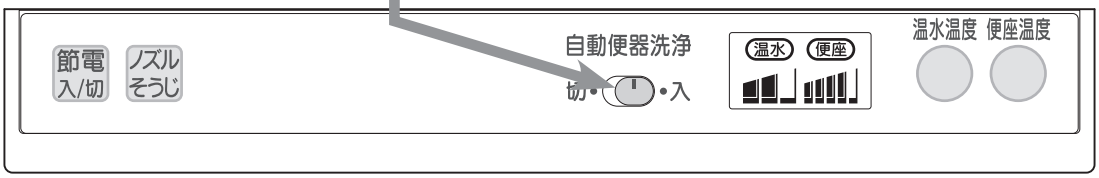
自動便器洗浄には 2 通りの方法があります。

1. 便座から立ち上がると数秒後に自動で洗浄を行う **“フルオート便器洗浄”**。
2. リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を行う **“リモコン便器洗浄”**。

1. フルオート便器洗浄のしかた

1 自動便器洗浄スイッチを「入」にします。

2 使用しないときは、自動便器洗浄スイッチを「切」にします。



※ 大小洗浄便器（リモコンに「大･小」スイッチがある場合）において、フルオート大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」･「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。

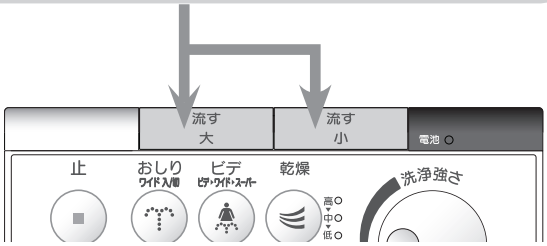
※ フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 21 ページ参照）

2. リモコン便器洗浄のしかた

便器の種類によって、リモコンの流すスイッチが「**大・小**」または「**大**」があります。

■大小洗浄便器の場合

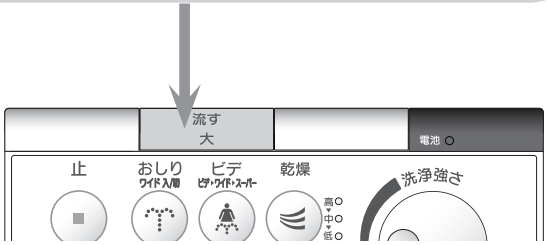
「大」：大便時に押します。
「小」：小便時に押します。



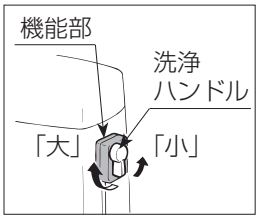
※ 大便時に「小」スイッチを押すと、汚物が流れないことがあります。

■大のみ洗浄便器の場合

便器洗浄時に「大」スイッチを押します。



※ 機能部がタンク部に付いている機種は、洗浄ハンドルを「小」側に手で保持している間だけ小洗浄が行えます。



■より快適な機能

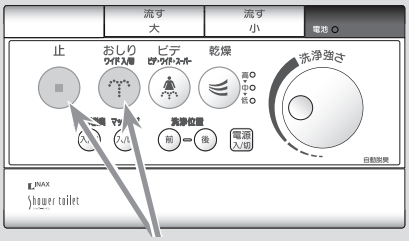
※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ）

便座ヒーターオート OFF について

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

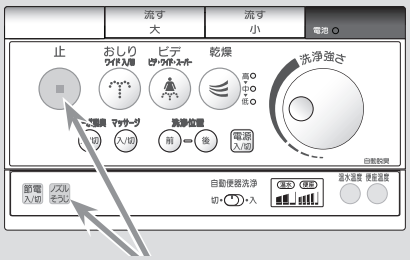
※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

フルオート便器洗浄開始時間について〈フルオート便器洗浄付の場合〉

フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。この開始時間を、約 15 秒後に切り替えることができます。お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとノズルそうじスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅します。）
●元に戻すのも同じ方法で行います。



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

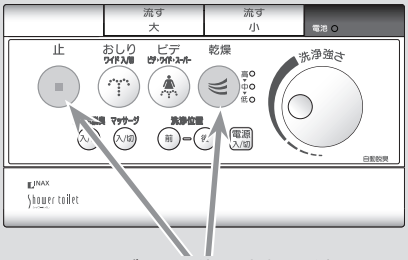
温風始動温度の切換えについて〈乾燥付の場合〉

毎回、温風温度を「中」または「低」から始まるようにすることができます。お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが 2 回点滅し、温風が始まる温度のランプ「高」「中」または「低」が点灯します。）
※切替順は下図の通りです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度、切替り方		
		1 回目	2 回目	3 回目
しない / 3度目	**高** ※お買い上げ時の設定	中	低	高
1 度目	**中**	低	高	中
2 度目	**低**	高	中	低



同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。

元の温風始動温度に戻す場合

●止スイッチと乾燥スイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続ける操作を繰り返します。合計 3 度目の操作で、元の温風始動温度に戻ります。

《お買い上げ時の設定は》

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。この「快適な機能」等で設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**「おしり」と「温水温度」、「便座温度」スイッチを同じタイミングで２秒以上**押し続けてください。（セット完了時、電源ランプが２回点滅します。）

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入／切	脱臭する
着座時のみ便座ヒーターを切る	切らない
乾燥スイッチの押した順番	「高」→「中」→「低」
フルオート便器洗浄の開始時間	立ち上がってから６秒後
スーパー節電の入／切	スーパー節電しない
脱臭のモード切替	「フルパワーモード」と「パワーモード」の自動切替

同じタイミングで２秒以上押し続けます。

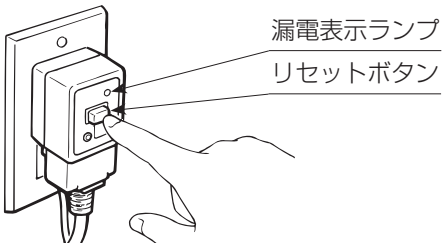
《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、20 ～ 30 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。
   ※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。



省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- ●使用後は便フタを閉じておきましょう。
- ●便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、指定のカバーを使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- ●春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- ●節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- ●長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞ 40、41 ページ)

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、有害ではありません。ご使用とともに消えます。

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後、温水温度スイッチを押したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または (株)INAX メンテナンスへご連絡ください。

便器のお手入れについて

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。

塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレの故障・破損の原因になります。

ゆっくり閉じる便座・便フタ

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

洗浄強さダイアルが最弱付近ではシャワーが届かない、と思ったら

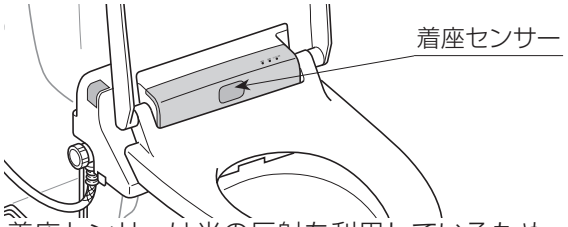
このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。

水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。

このようなときは、洗浄強さを強くしてください。(☞ 13、14 ページ)

着座センサーが付いています

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭〈脱臭付の場合〉、乾燥〈乾燥付の場合〉の各機能がはたらきません。



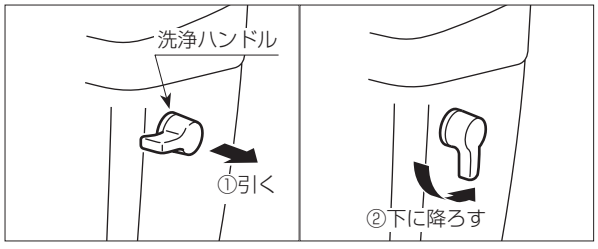
着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
  ※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- **黒色や毛羽立った布地などの光が反射しにくい衣服を着ている場合**
  ※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
  ※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

洗浄ハンドルが途中で止まったら〈フルオート便器洗浄付の場合〉

自動洗浄の作動中に停電すると、洗浄ハンドルが途中で止まってしまいます。そのままでは洗浄水が流れ放しになってしまいますので、以下の手順にしたがって洗浄ハンドルを元に戻してください。

(1) 洗浄ハンドルを引っぱりながら（矢印①）、下に降ろして（矢印②）洗浄水を止めます。
このとき洗浄ハンドルは、通常よりも少し浮いた状態になります。



(2) 停電が終わりましたら、リモコンの「大」スイッチを押して作動させます。
本体内部のモーターが作動し、洗浄ハンドルが通常の位置まで戻ります。

ラジオやテレビに雑音が入ったら

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

シャワーの温度について

- おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。
  冬期には冷水（約 5℃）から高（約 40℃）になるまでに約 10 分間かかります。
- シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
  温水タンク内制御温度
  低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

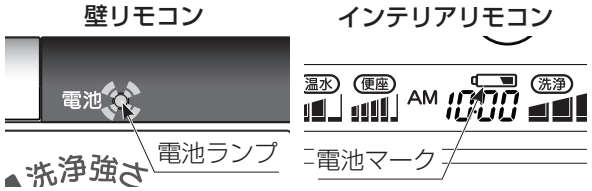
リモコンについて

- リモコンの電池マーク点滅は、電池消耗をお知らせするサインです。
  お早めに新しい電池に交換してください。

壁リモコンの場合：☞ 31 ページ
インテリアリモコンの場合：☞インテリアリモコン取扱説明書「リモコンの電池交換」

※部屋の広さ、壁の仕上げや色（特に黒っぽい色）等により、電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。（信号が弱くなるため）

- トイレのドアを開けたままや電池マーク点滅時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

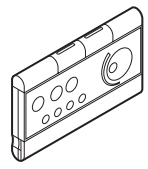


お手入れ方法

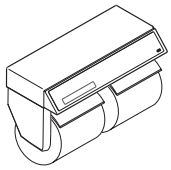
《各部のお手入れ》

このシャワートイレを末永くご使用いただくためにも以下のお手入れを実施してください。

リモコンの電池交換

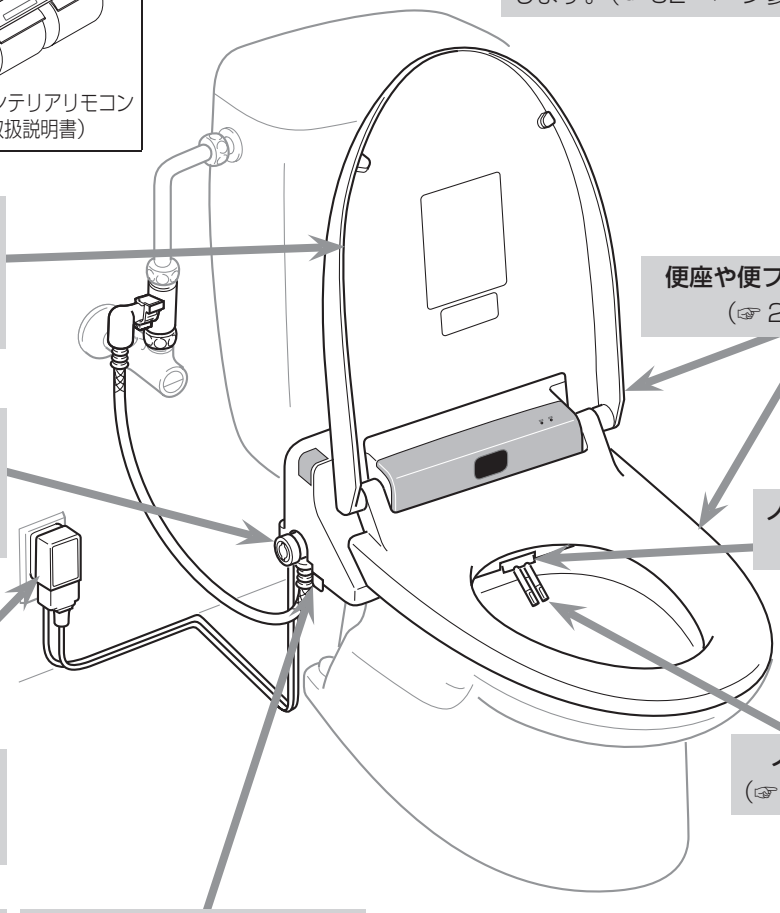


（☞31 ページ）



（☞インテリアリモコン取扱説明書）

脱臭カートリッジの掃除・交換
カートリッジのホコリを取り去ったり、交換します。（☞ 32 ページ参照）



便フタを外して掃除
便フタやヒンジ部を掃除します。（☞ 30 ページ参照）

便座や便フタ・カバー類の掃除
（☞ 26 ページ参照）

ストレーナーの掃除
ストレーナーに付着したゴミ等を取り除きます。（☞ 37 ページ参照）

ノズルシャッターの掃除
（☞ 29 ページ参照）

電源プラグの点検
漏電保護作動を確認します。（☞ 38 ページ参照）

ノズルの掃除・交換
（☞ 27、28 ページ参照）

本体を浮上させて掃除
本体と便器の間を掃除します。（☞ 33 ページ参照）

本体を外して掃除
本体と便器をすみずみまで掃除します。（☞ 35 ページ参照）

⚠ 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

注意

お手入れをするときは、必ずリモコンの電源スイッチを押して、本体の電源ランプ（☞ 3 ページ）が消灯していることを確認してください。
ノズルの掃除を行う場合は、電源を入れた状態で行ってください。

⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

※ お手入れには、INAX のお掃除グッズ（49 ページ：別売品のご案内）を、おすすめします。

《日頃のお手入れ》

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除のしかた

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● お手入れには INAX 純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤が使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。

別売品の購入方法については 49 ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 30 ページ参照）また、本体を浮かせたり（☞ 33 ページ参照）、本体を外して（☞ 35 ページ参照）、便器と本体の間も楽に掃除ができます。

注意 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。

※ 傷つきの原因になります。

※抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌樹脂を、リモコンには抗菌シートを採用しています。

※ KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は , 商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA *に適合した製品です。

＊:SIAA マークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

ノズルのお掃除のしかた

ノズルのお掃除には、以下の方法があります。
●使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“リモコンノズル洗浄”**
●日頃のお掃除時、しつこい汚れは、ノズルを電動で動かし、スポンジ等で掃除ができます。

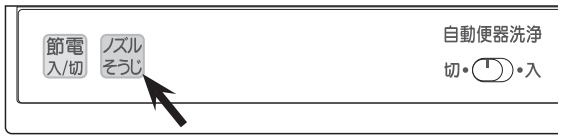
●使用中（着座中）にノズルを洗いたい。（リモコンノズル洗浄）

リモコンのノズルそうじスイッチを押します。

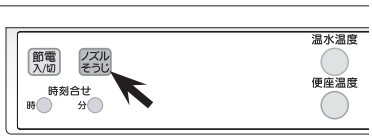
※ ノズルが本体に収納されたまま、約３秒間洗浄します。

※ おしり洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

壁リモコン



インテリアリモコン



●お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。

①おしりノズルを掃除します。
ノズル
そうじ

②ビデノズルを掃除します。
ノズル
そうじ

③掃除を終わります。
ノズル
そうじ

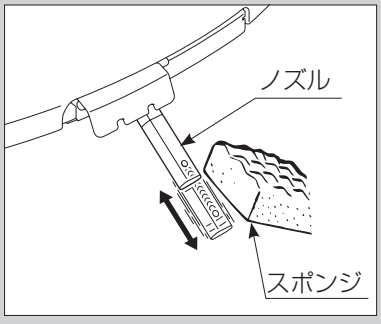
①リモコンのノズルそうじスイッチを押します。
※ ノズル付近から約３秒間水が出た後、おしりのノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。この時、シャワーは噴出しません。
※ 約１分経ちますと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押しますと、再びノズルが伸びます。

②おしりノズルが伸びている時に、再度ノズルそうじスイッチを押します。
おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸びてきます。

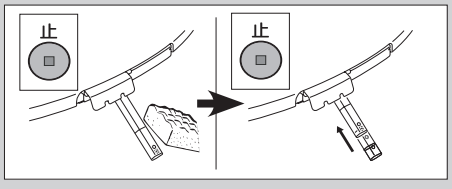
③再度ノズルそうじスイッチを押してビデノズルを戻します。

注意
ノズル掃除をする際、手やスポンジ等はなるべく着座センサーから離すようにしてください。着座センサーが検知する場合があります。
※ ノズル掃除中に、着座センサーが検知すると、ノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押してください。再び、ノズルが伸びます。

ノズルはスポンジ等を当てて掃除してください。



ノズルの小刻みな動きを止めたい時は、リモコンの止スイッチを押してください。ノズルの動きが止まります。再度止スイッチを押すと、ノズルは戻ります。



注意
ノズルに強い力をかけないでください。
※ 故障の原因になります。
ノズルを無理やり手で引っぱり出したり、押し戻したりしないでください。
※ ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。
もし、誤って引っぱり出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、30 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

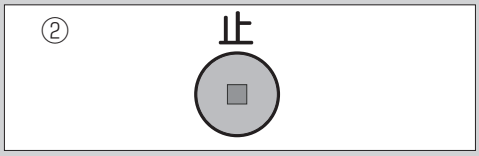
ノズル先端の交換方法

ノズルの汚れが気になるとき、別売品のノズル先端（おしり用：CWA-110、ビデ用：CWA-111）をご購入いただくと、ノズル先端の交換ができます。

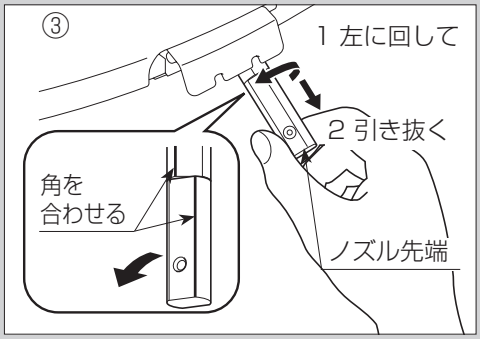
■取外し

①【おしりノズルを交換したい場合】
リモコンのノズルそうじスイッチを 1 回押します。
【ビデノズルを交換したい場合】
リモコンのノズルそうじスイッチを 1 回押し、おしりノズルが出た後、もう一回ノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズル付近から約 3 秒間水が出た後、ノズルが伸びてきて小刻みに前後に動きます。この時、シャワーは噴出しません。
※ 約 1 分経ちますと、ノズルは自動で戻ります。ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押しますと、再びノズルが伸びます。



注意 **着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。**
ノズル先端を交換する際は、手等はなるべく着座センサーから離すようにしてください。着座センサーが検知する場合があります。
※ ノズル掃除中に、着座センサーが検知すると、ノズルは自動で戻ります。この場合、ノズルが戻った後に再度ノズルそうじスイッチを押してください。再び、ノズルが伸びます。
（フルオート便器洗浄付の場合）
フルオート便器洗浄は「切」にしてください。
※ 人を検知して勝手に流れる場合があります。

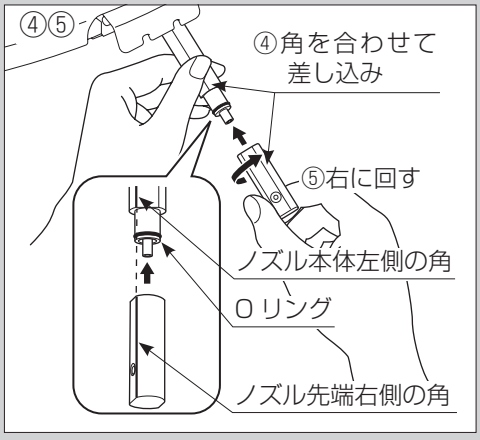


②リモコンの止スイッチを押してノズルの動きを止めます。
※ノズルは約 30 秒間動きを止め、その後本体に戻ります。

③ノズル先端を左に回してノズル先端右側の角とノズル本体左側の角を合わせ、引き抜きます。

注意 **ノズルを強くひねったり、引っ張ったりしないでください。**
※ 故障の原因になります。

■取付け

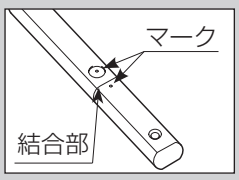


④ノズル先端右側の角とノズル本体側左側の角を合わせ、奥までしっかり差し込みます。
※ ノズルが引っ込んでしまった場合は、再度①～②の操作をしてノズルを出してください。

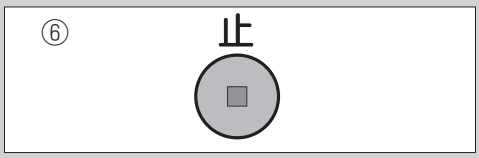
注意 **ノズル本体の O リングを傷つけないようにしてください。**
※ 漏水の原因になります。

⑤ノズル先端部を動かなくなるまで右に回して取り付けます。
※ノズルは約 30 秒間動きを止め、その後本体に戻ります。

⑥再度、ノズルそうじスイッチまたは止スイッチを押してノズルを戻します。



注意 **取付後、ノズル本体側のマークと先端側のマークが合っていること、また結合部が平らになっていることを確認してください。**
※ 故障の原因になります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。



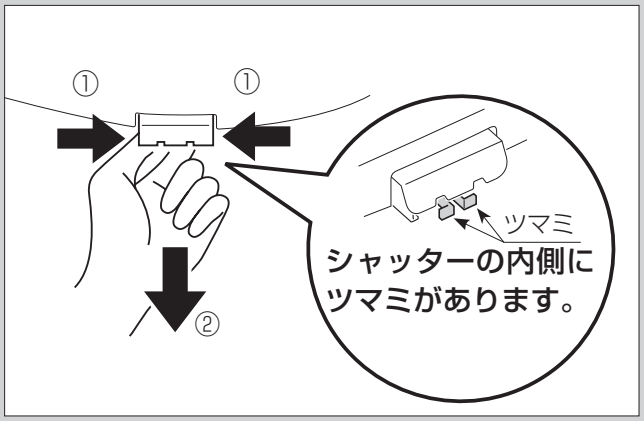
ノズルを無理やり手で引っぱり出したり、押し戻したりしないでください。
※ ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。もし、誤って引っぱり出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、30 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

ノズルシャッターのお掃除のしかた

ノズルシャッターは簡単に外して掃除することができます。
※外しにくい場合は、お掃除スライドアップ（☞ 33 ページ参照）で本体を浮かせることにより、外しやすくなります。

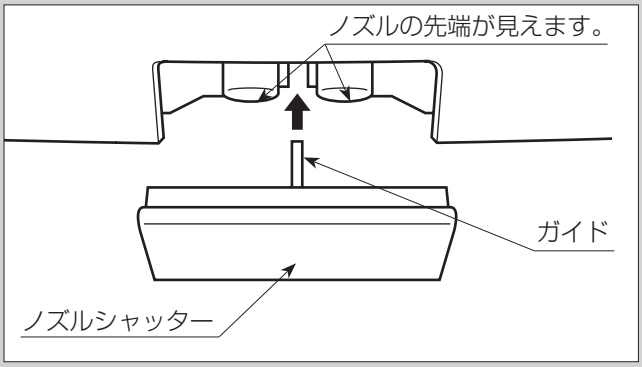
1. ノズルシャッターの外しかた

①シャッターを開き、中にあるツマミを左右からつまみます。
②ツマミをつまんだまま、前方向に引き抜きます。
③歯ブラシ等でノズルシャッターの汚れを落とします。



2. ノズルシャッターの取付けかた

ノズルとノズルの間にシャッターのガイドを合わせて差し込みます。



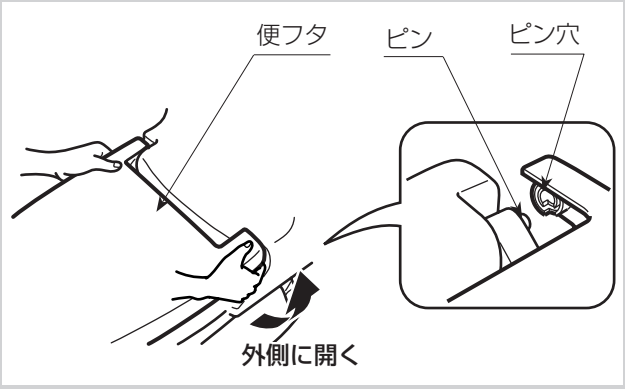
注意 **「カチッ」という音がするまで押し込んでください。また、シャッターが正しく取付けられた事を確認してください。**

《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）》

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部をお掃除する時や便フタを丸洗いするのに便利です。

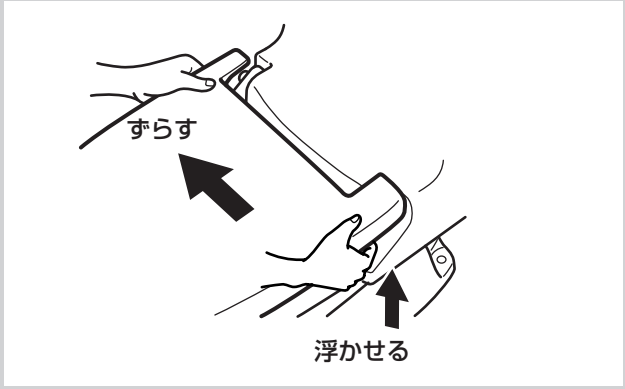
便フタの外しかた

1. 電源を「切」にします。
2. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



3. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

注意 強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。



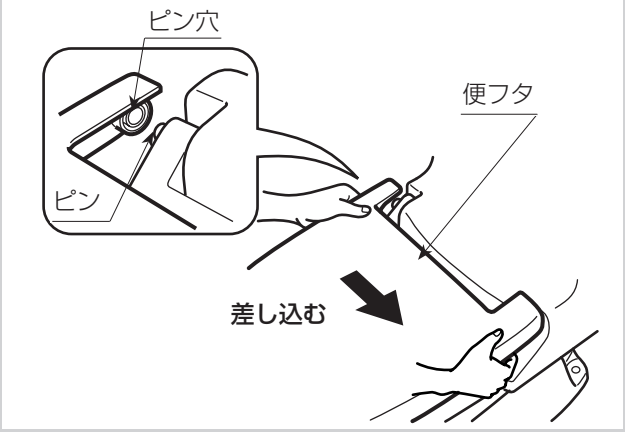
注意

便フタを外したまま使用しないでください。

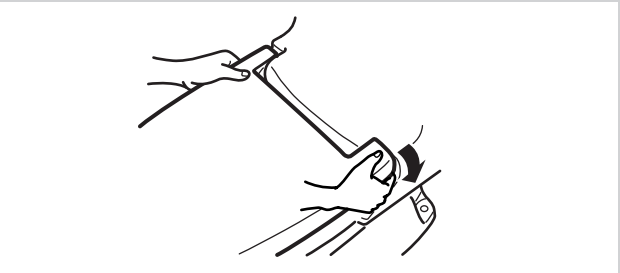
※ 便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭（脱臭付の場合）、乾燥（乾燥付の場合）の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



3. 電源を「入」にします。

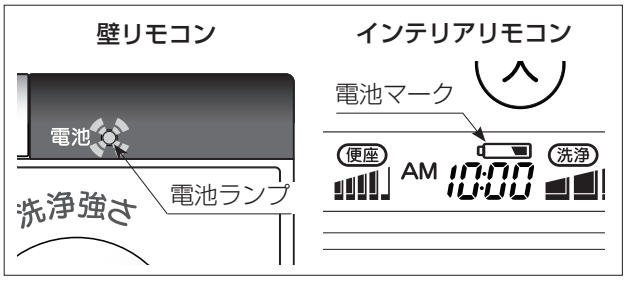
《リモコンの電池交換》

電池の寿命が近づくと、電池ランプ（壁リモコン）または電池マーク（インテリアリモコン）が点滅します。

※ 通常、**壁リモコンの場合、**電池ランプは消灯しています。
インテリアリモコンの場合、電池マークは表示していません。

※ 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。

※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。



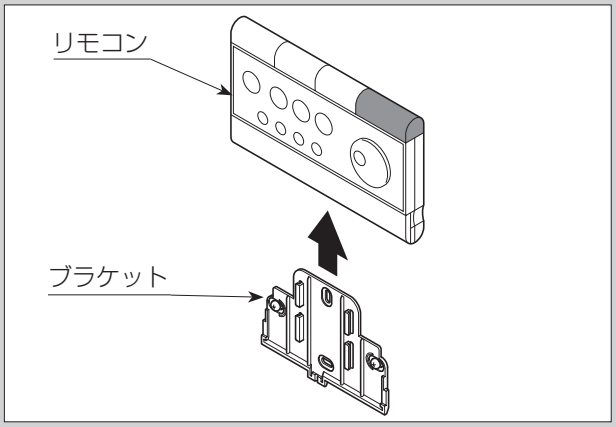
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

※ インテリアリモコンの電池交換は、インテリアリモコンに同梱の取扱説明書「リモコンの電池交換」をご覧ください。

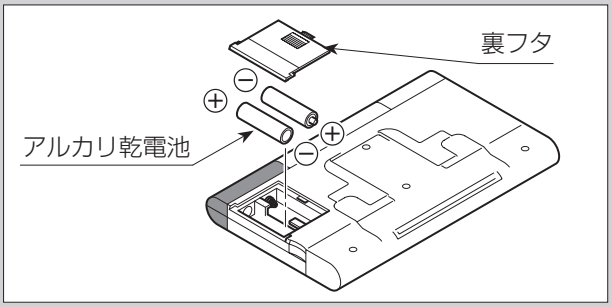
注意

- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ乾電池を使用してください。**

1. リモコンを持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V 単三、２本）に取り替えます。



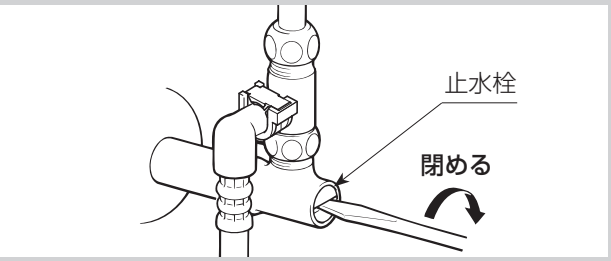
3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

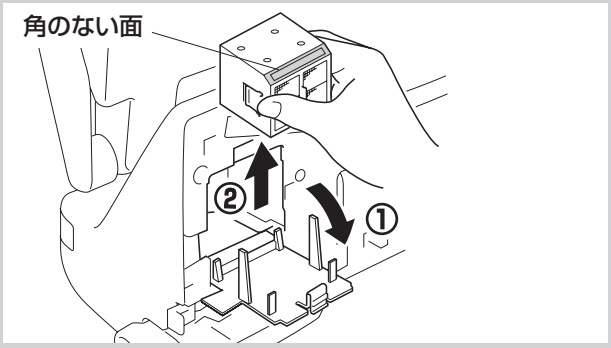
《脱臭効果が弱くなった場合》〈脱臭付の場合〉

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

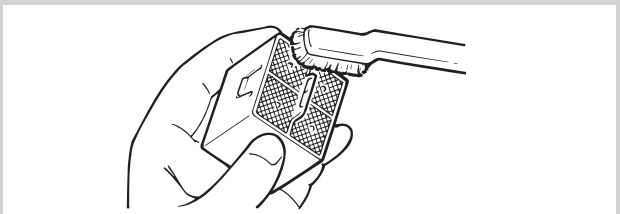
脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **止水栓を閉めて給水を止めます。**
3. **温水タンクから水を抜きます。**
   (☞ 39 ページ参照)
4. **本体を便器から外します。**
   (☞ 35 ページ参照)
5. **本体底面にある、脱臭カートリッジを取り外します。**
   ① 脱臭カートリッジ取付口フタを開けます。
   ② カートリッジを外します。





6. **カートリッジのフィルターに付いているホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。**



注意 **脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。**

7. **脱臭カートリッジを組み付けます。**
   脱臭カートリッジの向きに注意して取付口に差し込み、フタを閉めます。
8. **本体を便器に取り付けます。(☞ 36 ページ参照)**
9. **止水栓を開けて給水します。**
10. **電源プラグをコンセントに差し込みます。**

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 7 年です。
※ 脱臭カートリッジの寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、49 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

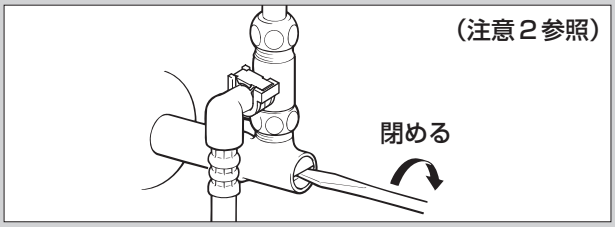
《本体を浮かせて掃除します／お掃除スライドアップ》

簡単に本体を浮かせて、便器と本体の間がお掃除できます。日頃の汚れを手軽に掃除したい時に便利です。

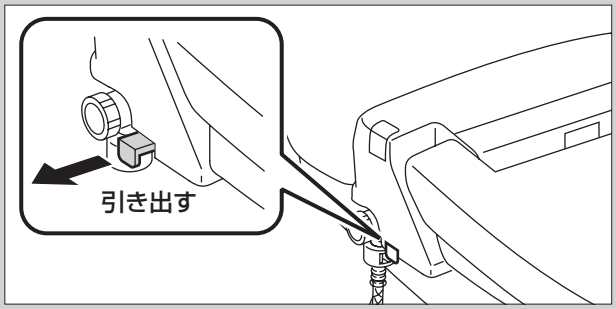
1．本体の浮かせかた

1. リモコンの電源スイッチを押して、電源を切ります。（注意１参照）

2. 止水栓を閉めて給水を止めます。



3. ロックレバーを引いてロックを解除します。

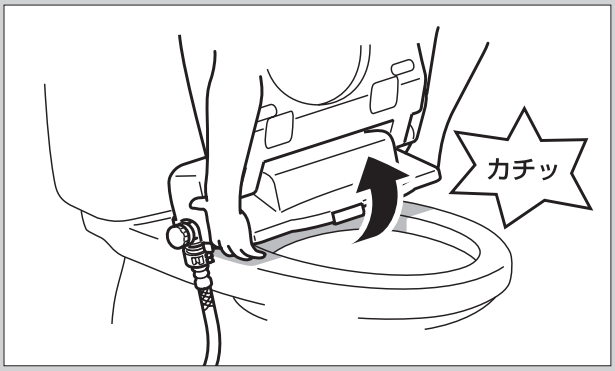


4. 本体を一番手前までスライドさせます。

※ 本体を完全に手前にスライドさせないと、浮かせることはできません。

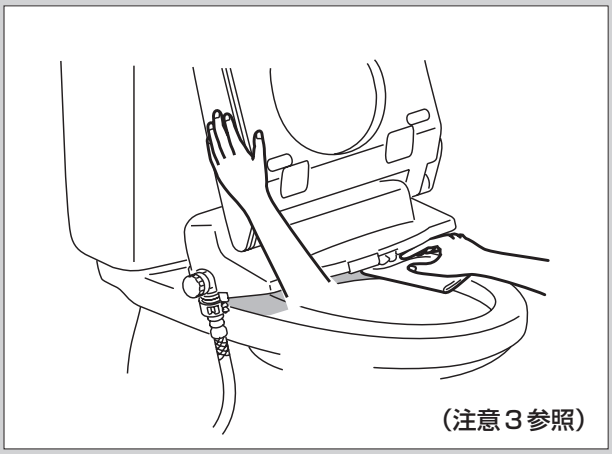
5. 便座・便フタを開け、本体手前側をロックするまで静かに浮かせます。（カチッと音がするまで浮かせます。）

※ 便フタがタンクに強く当たらないようにゆっくり持ち上げてください。



6. 便座を支えながら、便器と本体の間を掃除します。

※便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。

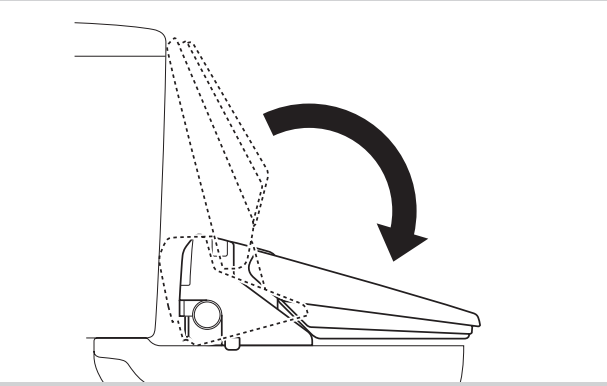


注意

1. 電源を切ってからスライドしてください。
※故障の原因になります。
2. 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
3. 本体が倒れて指を挟まないようにお掃除する時は、便座を支えながら行ってください。

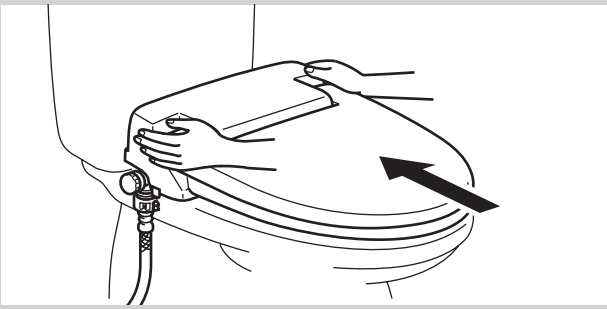
2．本体の戻しかた

1. 便座・便フタをゆっくり降ろしながら本体を戻します。



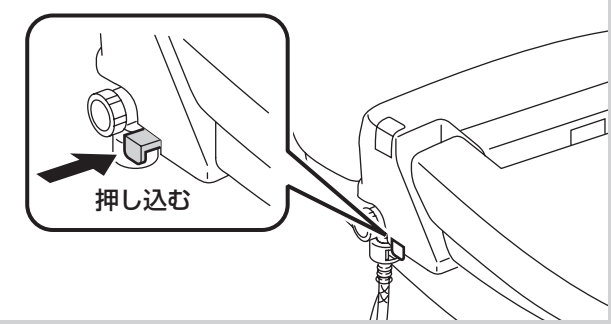
2. 本体を奥までスライドさせます。

※ 本体を完全に奥までスライドさせないと使用時、本体がぐらついたり、便器から外れることがあります。



3. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



4. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

5. リモコンの電源スイッチを入れます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。
（☞ 9、10 ページ）

注意

本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

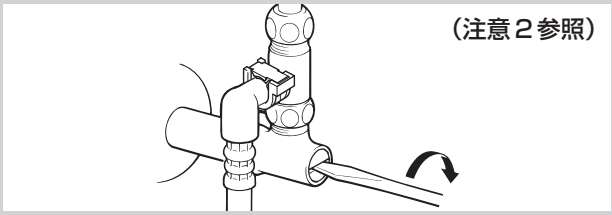
《本体を外して掃除します／本体スライド着脱》

本体を外して、便器全体および本体の裏側がお掃除できます。細かいところまでしっかりと掃除したい時に便利です。

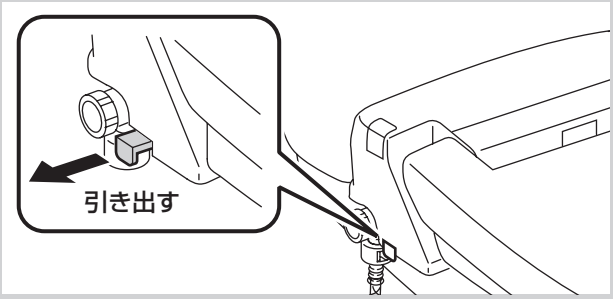
1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意 1 参照／次ページ）

2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

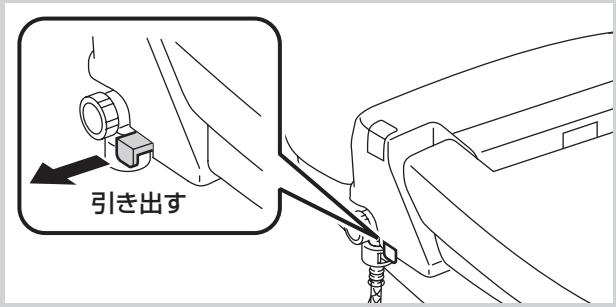


3. ロックレバーを引いてロックを解除します。

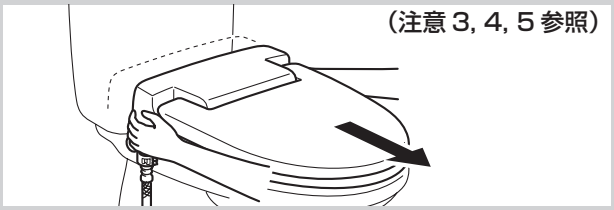


4. 本体を一番手前までスライドさせます。
※ このとき、ロックレバーが戻ります。

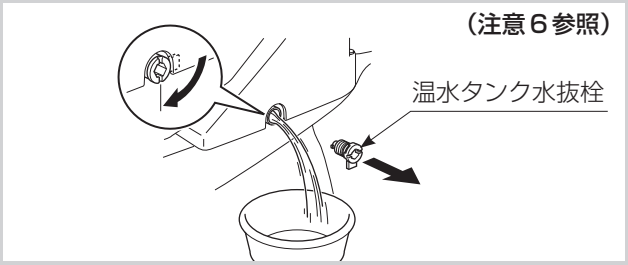
5. 再度、ロックレバーを引きます。



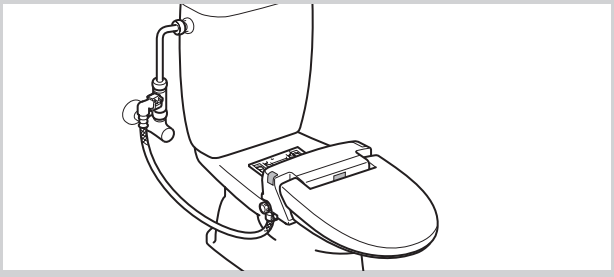
6. 本体を手前にスライドさせて便器から外します。



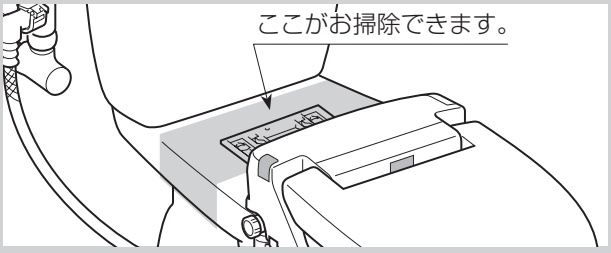
7. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。
工具を使って、水抜栓を時計方向に 90 ˚ 回して外します。



8. 本体を便器リム部に静かに置きます。

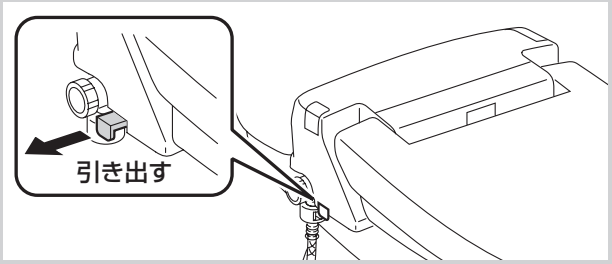


9. 本体のお掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。
※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書をご覧ください。

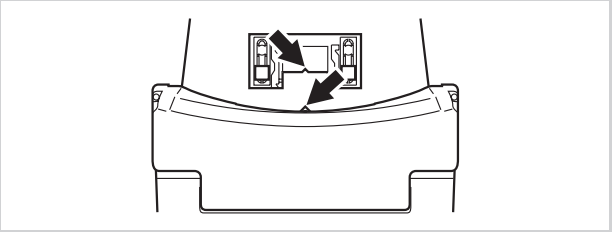


2．本体の組み付けかた

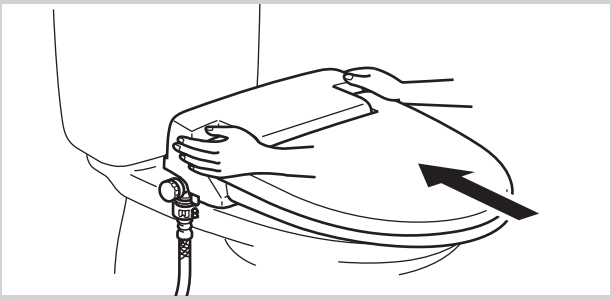
1. ロックレバーを引き出します。



2. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り欠き部と本体背面部にある凸部を合わせます。

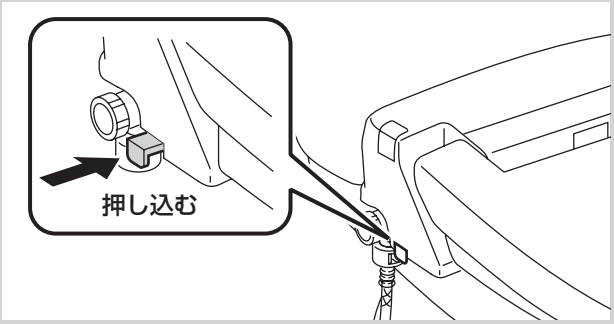


3. 本体をゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。



4. ロックレバーを押し込んで、便座をロックさせます。

※ ロック後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認してください。



5. 止水栓を元の位置まで開き、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

6. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

7. 最後に必ず試運転を行ってください。

(☞ 9、10 ページ)

注意

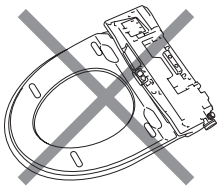
本体が確実に固定されていること（ロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ ロックレバーが押し込まれていないと、本体がぐらつきます。

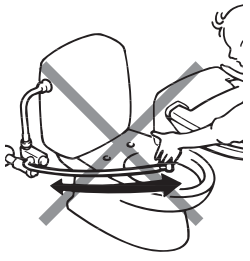
注意

1. 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
   ※故障の原因になります。
2. 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
3. コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
   ※破損や漏水の恐れがあります。
4. 本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
   ※漏水・故障の原因となります。
5. 本体は、絶対に裏返さないでください。また床に置かないでください。
   ※故障の原因になります。
6. 温水タンクの水は必ず抜いてください。
   ※温水タンク内に水が入っていると漏電の恐れがあります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！



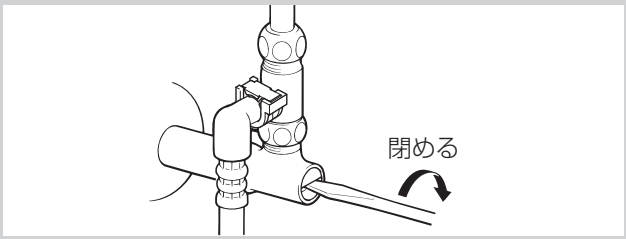
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

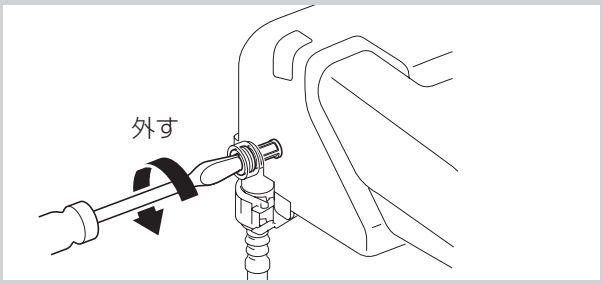
1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



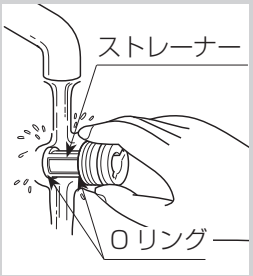
2. 工具を使って、本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

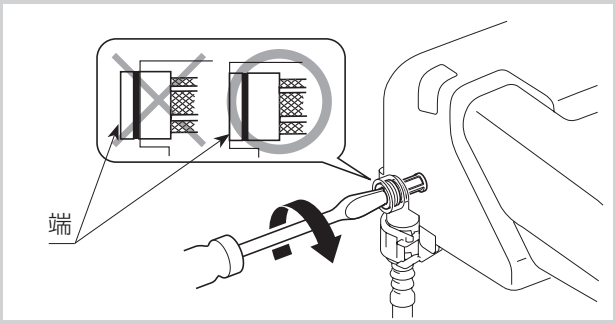


※ 工具を使用するスペースがない場合は、本体を便器から取り外してストレーナーを外します。（☞ 35 ページ）

3. ストレーナー部やＯリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



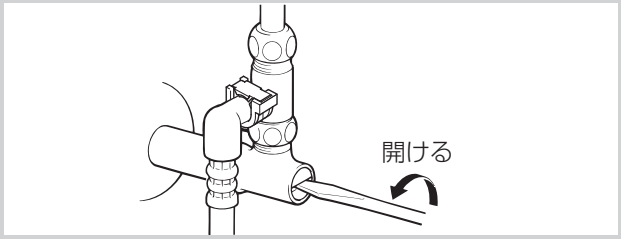
4. ストレーナーを工具で確実に取り付けます。



※ ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。

※ 本体を便器から外した場合、元に戻します。（☞ 36 ページ）

5. 止水栓を元の位置まで開きます。



6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ●ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ●ゴミがＯリングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

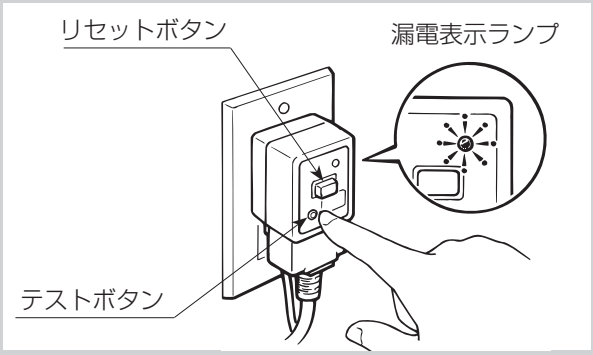
指示実行

《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に１～２回程度です。）

電源プラグの点検方法

1. **電源スイッチを押して「入」にし、本体表示部の電源ランプの点灯を確認します。**
2. **電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認します。**
3. **リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認します。**



注意 電源プラグを差し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。

※ 電源ランプは、シャワートイレ本体の表示部にあります。（☞ 3 ページ参照）

《定期的な点検のお願い》

逆流防止装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、取付けの日から 6 年後です。

有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
逆流防止装置（バキュームブレーカー）の点検は、㈱ INAX メンテナンスまでご依頼ください。

（株）INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

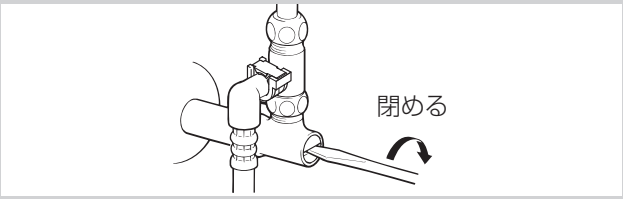
㈱ INAX メンテナンスにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

長期間使用しない場合

以下の場合は水抜きを必ず行ってください。
- 旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき（水が汚れて詰まりの原因になります）。
- 別荘などで使用しないとき（冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります）。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 電源プラグをコンセントから抜きます。

4. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

あらかじめ水受け（約 1 L 以上入るもの）を用意します。

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計方向に 90 ˚ 回して外します。

5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付けます。

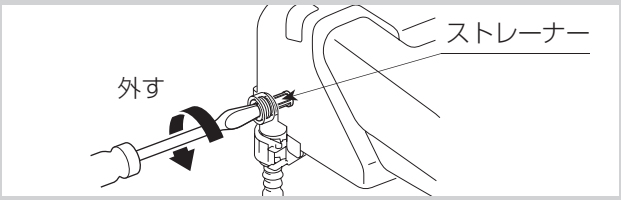
マイナスドライバーを使って、反時計方向に 90 ˚ 回して確実に取り付け直します。

6. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 本体を便器から取り外します。（☞ 35 ページ）

② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。

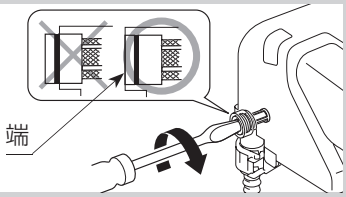
③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。

⑤ 水抜き完了後、工具でストレーナーをしっかりと締め付けます。

ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。



⑥ 本体を便器に戻します。（☞ 36 ページ）

7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、本体や給水ホースを注視してください。**

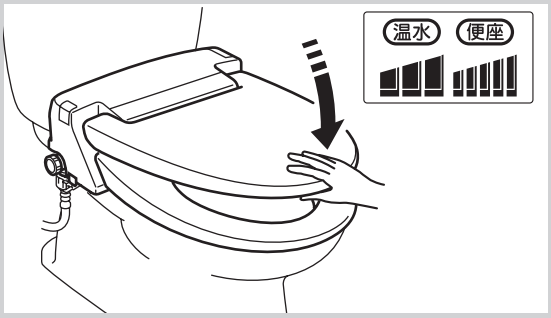
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

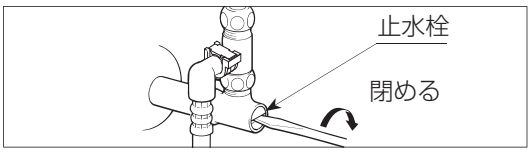
1. **便座温度スイッチと温水温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。
2. **室内を暖房します。**
   トイレ室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、下記の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

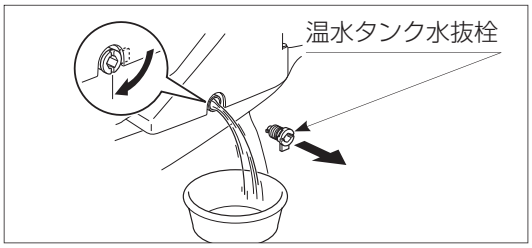


■本体給水ホース・本体内からの水抜き方法

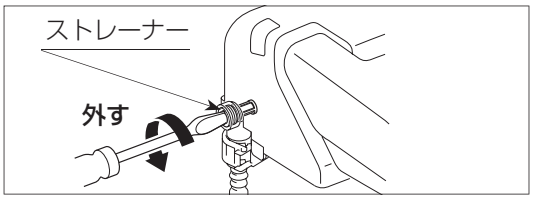
1. **止水栓を閉めて、給水を止めます。**
   ※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

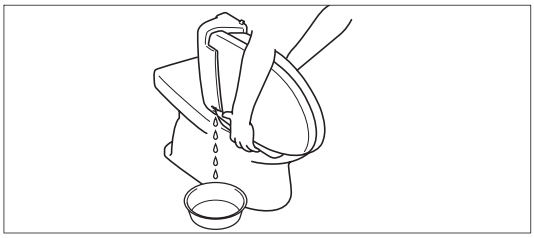


2. **電源プラグをコンセントから抜きます。**
3. **温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。**
   あらかじめ水受け（約 1 L以上入るもの）を用意します。
   工具を使って、水抜栓を時計方向に 90 ˚回して外します。

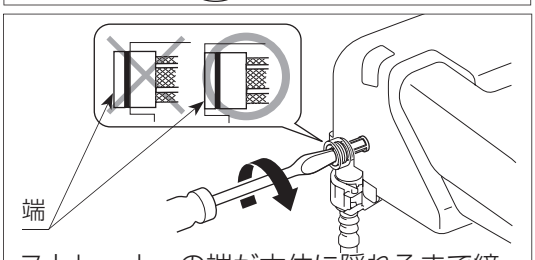


4. **水抜き完了後、水抜栓を取り付けます。**
   工具を使って、反時計方向に 90 ˚回して確実に取り付け直します。
5. **本体給水ホースから水を抜きます。**
   ① 本体を便器から取り外します。（☞ 35 ページ）
   ② ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
   ③ 工具を使ってストレーナーを外し、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。





   ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
   ⑤ 水抜き完了後、工具でストレーナーをしっかりと締め付けます。
   ⑥ 本体を便器に戻します。（☞ 36 ページ）

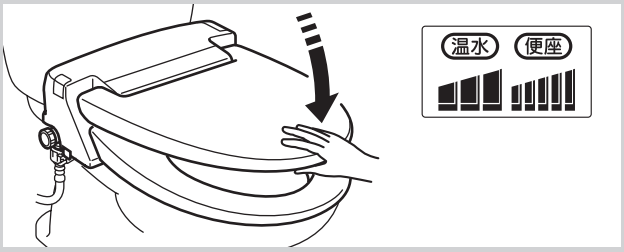


ストレーナーの端が本体に隠れるまで締め付けます。

6. **再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 9、10 ページ）**

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

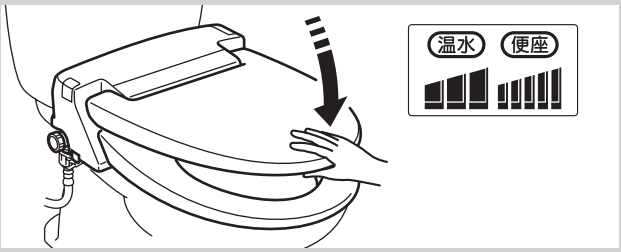
1. **便座温度スイッチと温水温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. **室内を暖房します。**
3. **便器本体の流動ハンドルを操作します。**
   便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. **便座温度スイッチと温水温度スイッチを「高」にして便フタを閉じます。**
   節電を行っている場合は、節電を解除します。



2. **室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。**
3. **洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。**
4. **前ページの「本体給水ホース・本体内からの水抜き方法」にしたがって水を抜いてください。**
5. **再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。**（☞ 9、10 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ストレーナーの端が本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ゴミが O リングに付着した状態で取り付けないでください。
  ※漏水し、室内浸水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

- **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
  ※本体給水ホースが破損する恐れがあります。
- **凍結箇所によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、本体や給水ホースを注視してください。**

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または（株）INAX メンテナンスにご相談ください。
※「★」マークは、インテリアリモコンを使用している場合の参照先です。インテリアリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現　象	原　因	処　置
すべての機能が動作しない (電源ランプが点灯しない)	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」（電源ランプ消灯）になっていませんか。	電源スイッチを押して、表示部の電源ランプを点灯させます。（☞ 12 ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直す時は、10 秒間程度時間をあけてください。（☞ 10 ページ）
	漏電していませんか。（漏電表示が点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。（☞ 38 ページ）それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
リモコンのスイッチを押しても動作しない (電源ランプは点灯している)	便フタを（閉じた状態で）外していませんか。	便フタを開けた状態で再度外してください。（☞ 30 ページ）
	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池ランプ点滅*）	新しい電池に交換します。 （☞ 31 ページ、「★リモコンの電池交換」）
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。 （☞ 31 ページ、「★リモコンの電池交換」）
	リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。
	インバータ照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。

＊：リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり・ビデ洗浄

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない (次ページへつづく)	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を左に回します。（☞ 9 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 （☞ 37 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さダイアルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さダイアルを「強」側に回します。 （☞ 13、14 ページ、「★おしり･ビデ洗浄」）
	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。 （☞ 24 ページ）

おしり・ビデ洗浄（つづき）

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない（前ページより）	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。（☞ 24 ページ）
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。（☞ 9、10 ページ）
シャワーが温かくない	温水温度が適切に調節してありますか。	温水温度スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 12 ページ、「★温水」）
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。（☞ 24 ページ）貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 19 ページ、「★節電」）

温風乾燥

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　象	原　因	処　置
温風が出ない	着座センサーが入っていますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。（☞ 24 ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手などをかざします。（☞ 24 ページ）
温風が暖かくない	乾燥温度が適切に調節されていますか。	乾燥スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 16 ページ、「★乾燥」）
		使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。(IEC:International Electrotechnical Commission)
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	再度、乾燥スイッチを押します。（☞ 16 ページ、「★乾燥」）

暖房便座

現　象	原　因	処　置
便座が暖かくない	便座温度が適切に調節されていますか。	便座温度スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 12 ページ、「★便座」）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 19 ページ、「★節電」）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。（☞ 21 ページ、「★より快適な機能」）

脱臭

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　象	原　因	処　置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーに紙が張りっぱなしになっていませんか。	着座センサーの紙を取り除きます。
	不適切な布カバーを使用していませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。 （☞ 49 ページ）
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットしてありませんか。	脱臭を「入」にします。 （☞ 17 ページ、「★脱臭」）
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。 （☞ 32 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換します。 （☞ 32 ページ）

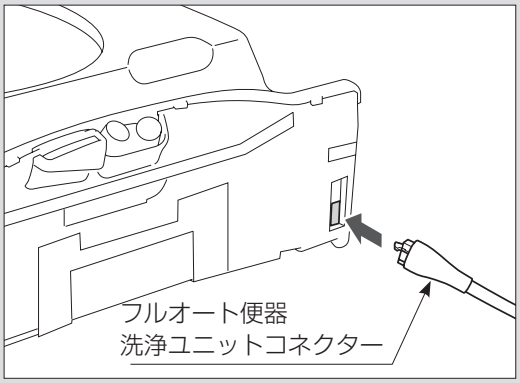
フルオート便器洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

現　象	原　因	処　置
自動便器洗浄時： ● 自動で動かない ●「大」·「小」時、逆方向に動く ● 動作中に異音がする	自動便器洗浄スイッチが「切」になっていませんか。	自動便器洗浄スイッチを「入」にします。 （☞ 20 ページ、「★フルオート便器洗浄」）
	自動便器洗浄ユニットのコードが外れていませんか。	コネクターを接続します。（下記参照）
	フルオート便器洗浄の設定（モード）が便器に合っていない。	「フルオート便器洗浄ユニット」の施工説明書をご覧になって、モードの設定変更をするか、お求めのシャワートイレ取扱店に連絡してください。

■フルオート便器洗浄ユニットコネクターの接続方法〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉

1. 電源を「切」にします。
2. 本体をスライド着脱で便器から外し、便器の上に立てます。（☞ 35 ページ）
3. シャワートイレ本体底部の右側にあるコネクターにフルオート便器洗浄ユニットコネクターを接続します。
4. 本体を横に寝かせて、便器に取り付けます。（☞ 36 ページ）
5. 電源を「入」にします。

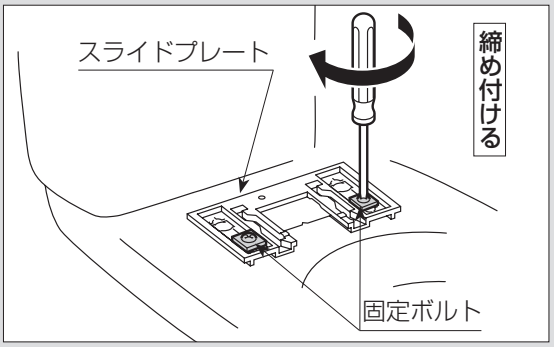


その他

現　　象	原　　因	処　　置
本体がガタつく、ずれる	ロックレバーを押して本体をロックしていますか。	ロックレバーを押し込んで本体をロックさせます。(☞ **36** ページ)
	スライドプレートがゆるんでいませんか。	スライドプレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直します。(下記参照)
本体から〝ググッ〟と音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを入れたとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき		故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に、異常がなければ問題ありません。
電源ランプが点滅している	温水・便座のいずれかの機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	**電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は、故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。** **電源スイッチを「切」にして消灯する場合は、点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。**
	止水栓が閉まっている等により、通水状態になっていない。	止水栓を開ける等、通水できる状態にしてください。
便座裏側にある後ろ足(奥の出っぱり)が便器に着いていない(浮いている)		**故障ではありません。** **後ろ足(奥側の出っぱり)は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。**
お買い上げ時の設定に戻したいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	**「おしり」、「温水温度」「便座温度」スイッチ 3 つを同じタイミングで 2 秒以上押し続けてください。** (☞ **22** ページ、「★より快適な機能」)
漏水している	ストレーナーがゆるんでいませんか。	ストレーナーを締めてください。 (☞ **37** ページ)
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除してください。 (☞ **37** ページ)
	温水タンク水抜栓がゆるんでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めてください。 (☞ **39** ページ)
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。 また換気を十分にしてください。

■スライドプレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。(☞ **35** ページ)
2. プラスドライバーを使って、スライドプレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。(☞ **36** ページ)



アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（42 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または(株)INAX メンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

■他社製タンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

タンク内の部品による不具合・故障において、フルオート洗浄ユニット以外の部品が原因の場合、保証の対象外となります。

※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴム等）は、保証の対象外となります。

⚠ 警告

- ●シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- ●シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
  ※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

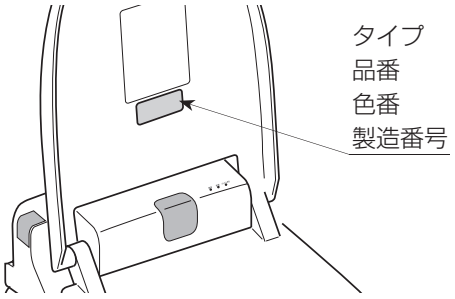
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏側の品番シールをご覧ください。）
3. お取り付け日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後 6 年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●逆流防止装置（バキュームブレーカー）は、必ず、6 年ごとに点検を行ってください。
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅（定期点検時期のお知らせ）したら

定期点検については、㈱ INAX メンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使いかた・お手入れ方法等のお問合わせは

(株)INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00
　　土日・祝日10:00～18:00（夏期、年末年始の休みは除く）

7. 商品についての修理のご依頼は

お求めの取扱店または

(株)INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）
FAX 0120-1794-56

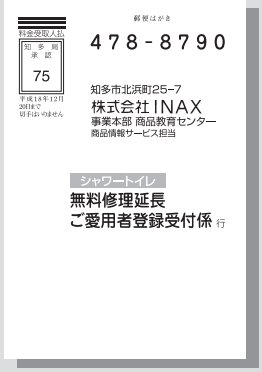
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

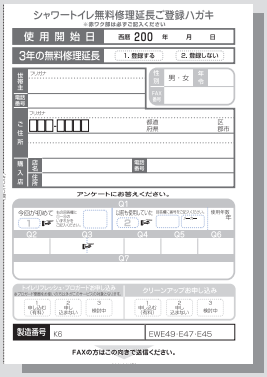
■ 5 年間保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、「ご愛用者登録」されますと、無料でさらに 3 年間延長され、計 5 年間保証になります。

同梱の「ご愛用者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送または FAX してください。

※ 一般家庭以外（事務所、病院など不特定多数の方が使用される場所）のご使用は、保証の対象外です。





仕様

品番		CW-E53 型	CW-E51 型	CW-E50 型
最大定格		AC100V、409W、50/60Hz	AC100V、349W、50/60Hz	
給水方式		水道直結式		
使用水道圧範囲		0.06 ～ 0.74MPa		
リモコン	壁リモコン	電源：単三アルカリ乾電池 2 本使用		
	インテリアリモコン	電源：単三アルカリ乾電池 2 本使用		—
商品寸法		幅 425mm ×奥行 556mm ×高さ 151mm		
商品質量		約 4.0kg		
洗浄	温水タンク・容量	貯湯式：0.90L		
	ノズル	おしり・ビデ専用電動モーター式		
	ノズル穴 おしり洗浄	φ 1.38 × 2 ヶ		
	ノズル穴 ビデ洗浄	φ 0.9 × 4 ヶ、φ 1.1 × 3 ヶ		
	吐水量 おしり洗浄	0 ～ 0.9L/ 分		
	吐水量 ビデ洗浄	0 ～ 0.9L/ 分		
	温水ヒーター容量	300W		
	温水タンク内制御温度	切（水温）・低（約 36℃）・中（約 38℃）・高（約 40℃）		
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空焚き検知回路		
	快適洗浄機能	●ワイド洗浄 ●洗浄位置調節 ●おしりマッサージ洗浄 ●スーパーワイドビデ洗浄		●ワイド洗浄 ●スーパーワイドビデ洗浄
温風乾燥	風量	0.3m³/ 分	—	
	温風ヒーター容量	360W	—	
	温風温度調節	低（室温）・中・高	—	
	安全装置	温度ヒューズ・サーモスタット	—	
暖房便座	便座ヒーター容量	45W		
	表面温度	切（室温）・低（約 28℃）～高（約 40℃）		
	温度調節	6 段階切替（マイコン制御）		
	安全装置	温度ヒューズ		
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式		—
	脱臭能力	ターボ時：0.17m³/ 分、フルパワー脱臭時：0.14m³/ 分、パワー脱臭時：0.11m³/ 分		—
	脱臭カートリッジ寿命	約 7 年		—
節電機能		スーパー節電（24 時間節電）、ワンタッチ節電（8 時間後自動復帰）		
省エネ区分		貯湯式		
年間消費電力量		185（259）kWh/ 年 *		
電源コード		有効長さ 1.2m（漏電保護機能、アースコード付き）		
その他の機能		●着座センサー ●便座・便フタスローダウン ●電源スイッチ（リモコン） ●本体スライド着脱 ●フルオート便器洗浄 (E53Q・E51Q) ●ノズルオートクリーニング ●ノズル先端着脱 ●大型兼用便座 (E53・E51・E50 型) ●上面施工 ●便フタワンタッチ着脱 ●お掃除スライドアップ ●ノズルシャッター着脱		

＊ 省エネ法（2012 年度基準）に基づいた測定値。( ) 内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

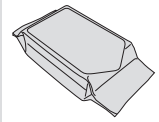
INAX では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

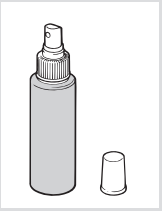
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞ 26 ページ）

※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。



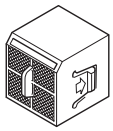
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞ 26 ページ）



■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

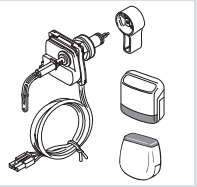
脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 32 ページ）



■流せるもん（品番：CWA-66 または CWA-67A）

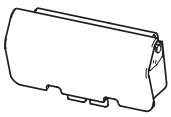
便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。

※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。



■ノズルシャッター（品番：CWA-105）

汚れが気になる時に交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
（☞ 29 ページ）



■おしりノズル先端（品番：CWA-110）
■ビデノズル先端　（品番：CWA-111）

汚れが気になる時に交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。
（☞ 28 ページ）

■シートカバーと便フタカバーは、同梱の「水まわりグッズ通販カタログ」をご参照ください。

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店、またはお近くの INAX ショールームでお求めください。

●宅配サービスを利用される場合

㈱ INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みを除く）

●インターネットを利用される場合

下記ホームページアドレスにアクセスし、商品をお求めください。

ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/maintenance/（24 時間受付）

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*** 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。**

品名及び品番	シャワートイレ PASSO（品番：CW-E　　）		
保証期間	取付日より２ヶ年	取付日	年　　月　　日
お客さま	おなまえ　　様 おところ おでんわ	取扱店 TEL(　　)　　－	

無効

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客様にご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内、アフターサービスのページに掲載の、（株）INAX メンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   （1）一般家庭用以外（車両・船舶及び使用頻度が高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷
   （2）施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
   （3）不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
   （4）掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
   （5）不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
   （6）建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
   （7）消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
   （8）公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
   （9）小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
   （10）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
   （11）戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
   （12）水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう。）
   （13）異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
   （14）指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
   （15）保証書の期限切れ、または提示がない場合
   （16）本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に掲載の、お客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後６ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00
　　土日・祝日　10:00～18:00
　　（夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はINAXメンテナンスへ

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～22:00（365日受付＆修理）

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 INAX

〒 479-8585　愛知県常滑市鯉江本町 5-1
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1177A(08082)